

新渡米論

今日渡米は我國民希望の燃點となれり、其の學生たるも、勞働者たるも、紳士たるも、實業家たるもを問はず、あらゆる人、凡ての國民、皆此聲は繰り返され、以て頭腦を痛めしめつゝあり、

然り、今や青年にして渡米を欲せざるは、進取の勇氣なく、壯烈の抱負無き者、商賈にして渡米を企てざるは、井蛙の一類のみ、復た共に外國貿易を語るに足らず、農工の業に従ふの徒にして渡米を思はざるものは、我國農工の前途を慮らざるの甚しき者、學者といはず、紳士と云はず、今日此時、北米の國運日に駛々として進み、隆々の勢世界を壓倒せんとするに當り、是一度び北米の土を踏まざるが如きは、愚の愚なり、昧の昧のみ、文明の土に非ずと斷するも、敢て過言に非ざる



144-13

97-150

新渡米序

今と渡米は我國民希望の燒點となれり、其の學生たると、労働者たる勞働者たると、紳士たると、實業家たるとを問はず、あらゆる人、凡ての階級を通通内交して、此聲は繰り返され、以て頭腦を痛めしめつゝあり。

然り、今や青年にして渡米を欲せざるは、進取の勇氣なく、壯烈の抱負無きの者、商賈にして渡米を企てざるは井蛙の一類のみ、復た共に外國貿易を語るに足らず、農工の業に従ふの徒にして渡米を思はざるものは、我國農工の前途を慮らざるの甚しき者、學者といはず、紳士と云はず、今日此時、北米の國運日に駿々として進み、隆々の勢世界を壓倒せんとするに當り、足一度び北米の土を踏まざるが如きは愚の愚なり、昧の昧のみ、文明の土に非すと斷ずるも、敢て過言に非ざる



可きを信じて疑はざる也。

且つ夫れ思はざる可からず、我が社會の風潮日に非なるの今日、人益々多くして、求む可きの職業愈々少く、失業者の恐慌に、生活難の悲歌に、到る處帝國の山河此の悲痛禁す可からざるの聲裡に包まれたるの時に當り、吾人は眞面目に、熱心に、我國民の大舉して北米に移住するの重大問題なるを知らしめ、今に於て大聲叱呼、邦人渡米の焦眉の急務なるを悟らしむるは、正に吾人の成す可きの一大責任に非ずして何ぞやといふの事を、之れ吾人の信じ且つ行はんと決心せる所也。顧みれば予の初めて、渡米問題の魁として『渡米案内』なる一書を著すや、幸ひにも世の熱望の容るゝ所となり、忽ちにして數版を重ね、拙著を繕いで奮ひ起す。

以て、予が周旋を以て、已に渡米

を決行し、彼地に渡りて苦學力行、學に業に成功の光明に向け進みつつある者すら數十百を以て數ふ。況んや未だ志遂げずと雖も、私かに北米の天涯を睨みて腕を撫せるの士に至りては夫れ果して幾許ぞや。予の著ありて以來、渡米に關するの述作、書肆の店頭に輻輳す、其の社會の風潮の趨きつつある所夫れ何ぞ盛んなるや。而も徒らに、無經驗の空想を逞うしたるの物亦少しとせず、吾人の遺憾とするもの久しかりしが、頃者友人宮本勘次郎君一大抱負を以て出版協會なるものを興し、先づ『新渡米』を出版すと、其意吾人と見を同うするに在りて存す。又壯なりと謂ひつ可し。乞に應じ一言を記して卷頭に序す。

渡米協會にて

三十六年十二月

片山潜

例言

今や渡米は我國に於ける重大なる問題と成つたといふてもよいので、特に青年の間に此思想の傳播してゐることは誰しも認めて居る所、隨つて渡米の案内書も雨後の筍の如くに出版され、一寸數へて見ても十有數種の多さに上つて居るが、吾輩の目から見ると、何の書も何の冊子も完全な物と云ふのが少ない、規則の改正されたことも、手續の變つた事も、一向氣が附かずに訂正されてないのが多い。年毎に我政府の渡米者に對する方針が變つても來る、旅券出願、下附の方法も何時迄同じで無い、而已ならず、肝心な北米の事情も日々に進歩し變化して、常に舊套を守つて居らぬのだから、従前のものが長く役に立つ譯には行かぬ。之れ實に本會が茲に敢て『新渡米』を發行するに至つた次第である。

本書は幾多の類書の内になつて、最も嶄新の材料を集め、最も親切丁寧ならんことを期し、凡ての階級、あらゆる方面の人々に對して適當なる案内書たらんことを欲する。學生にまれ、職工にまれ、農夫、商人、船乗り等の幾多の人の爲めに最も忠實な指導者となり、

相謀相手となり、特に米人象限の一節に至つては最も念を入れて書いて置いたが、之れは渡米の後までも大に參考となることと思ふし、英語會話箱は簡にして要を得、下手な會話の書物を一冊備へるよりも氣のさいた實用的會話を集めたので、渡米者に取つては最も必要なる事を選んであるから、出來得る限り、渡米者は船中起臥の半ヶ月を利用して暗誦でもしたなら、着米後の利益は非常なるものだらふと信じ、敢て筆者は老婆心から此事を諸君に勸めて置くのだ。

之を要するに本書は、不敏ながら編者が時間と努力と費用とを吝まらず、随分根氣よく奔走して材料を蒐め、小冊子ながら幾多の案内書の長所を合せ收めた積りで、無責任な言語を以て、渡米者を誤る様な事は斷じて無いことを吹聴するに躊躇せぬ。世の渡米に關して興味を持つてゐる人は、其の渡米を斷行すると否とに關はらず、一讀して渡米の手續、方法、北米の事情、北米人の氣質等を知つて平生の參照に資すべく、況んや渡米希望の者に在つては、缺くべからざる案内たる事を自信する、諸君希くは他の渡米書を讀みず其何れは兎も此れ本書を讀み玉へ、他の渡米書は讀んでも尚ほ重ねて本書を讀み玉へと、先づけめらう。

手前味噌の口上仍て件の如しだ……………

明治三十七年初春

編者識

新渡米目次

第一章 學生の渡米問答

苦學の方法——學問の金儲け——日本人歡迎——職業の種類——スケルボイ——勉強の順序——不成功の原因——
苦學生の福音(シロノラスキャンカレッジ)——苦學者の金儲けの方法——學校の種類——學制の大略……………二十一

第二章 農家の渡米問答

小作人の仕事——労働の種類——時期——場所及賃銀——果物摘み——庭師——耕切り——歸國の念を起すな——如何に
して地主となるか——成功者實例——土地の買入及び借入法……………三十九

第三章 職工の渡米問答

職工の種類——鐵道工夫——職工——日本人の好評——職工の狀況——理髮職——日本理髮職の大繁昌——有望な仕
事——會話の出來ぬ人——職工——日本人の腕前……………四十五

第四章 商人の渡米問答

商業の方法——在桑港の商店種類——日本人成功の原因——成功者實例——食本屋——飲食店——雜貨商の情態——
雜貨商店の狀況——商品の選擇……………五十二

第五章 漁業家の渡米問答

渡米の方法及び場所——日本人成功の原因——渡米の時季及び種類——日本へ輸出船——古瀬で乗船……

第六章 船乗の渡米問答……………五十五

金、旅券なくして渡米の方法——水夫、ボーイ、エッグの仕事——米國軍艦日本人歌理——ボーイの状態——成務者
實例——軍艦に乗る手帳き——ボーイ、エッグ其他職務——軍艦生活の愉快……

第七章 婦人の渡米問答……………六十三

婦人及未下年者の渡米手續——婦人移住論……

第八章 出發の準備……………六十七

準備金——上陸金客社取扱相違——準備品——宿屋——外國旅券規則——外國旅券下付取扱心得——米國移民制限
法要領——東京府旅券下付取扱の要領——海外旅券下付額及保證の書式——旅券出願より下付迄の順序……

第九章 出帆乗込み注意……………八十五

檢査——身体檢査及訊問——水上警察の訊問——乗込後の状態——船中心得……

第十章 上陸の心得……………八十八

着海後の檢査及移民官の訊問——上陸後の心得……

第十一章 北米人の氣質……………九十二

北米人獨特の氣質——東部の氣風——妻、夫、子供、僕婢の氣風——友人知己——賓客——一般の氣質——北米人氣
質に就いて注意——北米の女子

附 録

英語會話……………自一至一五

日々働きの必要會話——スクールボーイ掛合——日々の仕事に就いての話——給金増加の請求——暇を取るときの
話——市街車及び流車乗降——下宿屋尋れる時の問答——需用品買物——文房具——靴——衣服——田舎へ旅行——田舎働
き……

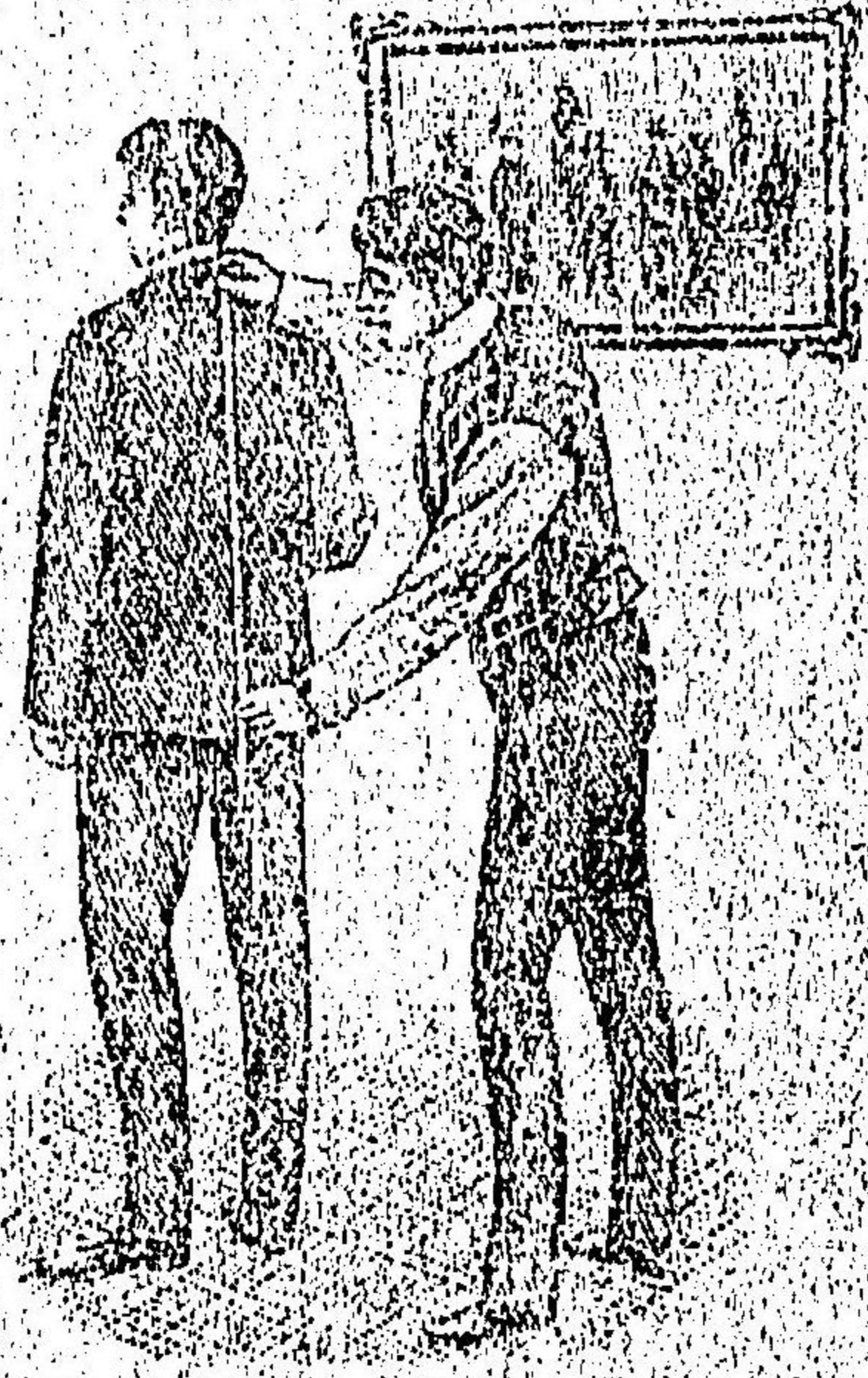
三十七年度出帆表……………自十四至十六

横浜、布哇、桑港間——横浜、ピクトリヤ——シヤートル間……

一 意 注 目 刮 一

米國裁縫師 渡米諸氏 最近國最 服裝 渡航

拙者ハ多年米國ニ於テ裁縫一式ノ技術ヲ研究シ今尙ホ同國ト業務上ノ取引通信等繼續シ居ルニ因リ各種洋服ノ仕立方ハ最近ノ流行ニ從ヒ最良ノ品質ヲ撰ビ且ツ最上ノ製法ヲ以テ御需ニ應ムベク希クハ陸續御注文ノ榮ヲ垂レ給ハレシコトヲ 敬白



米國裁縫師

本店 澤田洋服店

東京市東橋區尾張町二丁目十二番地

電話特新橋二三三七

大阪市東區高麗橋通リ四丁目五番地

支店 澤田洋服支店

電話特東ノ二二九五

●●●●●渡米諸君の生命保険●●●●●

◎ 數千海里の波濤を越へて異郷に事を舉んと爲し賜
 ふ諸君は所謂「板ひとへ地獄」の危険を冒さざるを得
 ず。而して幸に安全彼地に上陸せられし後と雖ども
 亦風土の相異衣食住の激變に伴ふ幾多の危険と戦
 はざるを得ず。有隣生命保險會社は此種の諸君に對
 し最大便利なる方法を以て生命保險の契約を締結

◎ 保險契約の儀に付き詳細の手續は御一報次第早速
 勸誘員を參上せしめ御説明可申上候

東京市神田區五軒町廿番地

有隣生命保險株式會社保險申込所 **宮本勘次郎**

H. IDE CO.

207 Battery Street,
San Francisco
Cal, U. S. A.

弊店ハ左ノ輸出品御買及委託販賣ヲ專
 業トシ多量及御送荷被下度希望仕候
 多クニ係ラス御注文及御送荷被下度
 少クニ係ラス御注文及御送荷被下度
 輪船運送ノ便宜ニ爲し御買及委託販賣ヲ專
 業トシ多量及御送荷被下度希望仕候
 瓦新及電氣燈用品各種洋紙類
 洋釘及護謄製木材各種洋紙類
 種類寫眞器各種音器自働車及附屬品
 各種カルホルニヤモトル自働車及附屬品
 各種鏡類其製米鐵管一切及鉛板
 各種輸入製茶天竺物及油類
 各種物漆器白米香味物及雜貨
 各種米國桑港物類賣小間物及酒類
 二〇七番地 井出商店

院病堂天順
 法御生先兩 中尙藤佐士博大學大故
 進藤佐士博學醫
携必者行旅船汽車汽
 りな薬良
 りおに店薬地各所捌賣

忠要藥
 懷
 商標 登録
大野丹
 本店上總東金町
 東京市日本橋區通子目
 支店大野傳兵衛
 電話木百一千五百十五番

外國貨幣の賣買
 内外國公債株券賣買
 手形仲買
 三五屋
林檎吉
 横濱市居留地五十五番
 電話特一四四〇番
 電報發信通語三五ヤ

横濱市本町四丁目六十四番地
 株式會社 **三十五銀行支店**
 (電話二九八番)
利子割合
 定期預金 六ヶ月以上 五分五厘
 當座預金 日歩 定 額
 特別當座預金 日歩 壹錢貳厘
 貯蓄預金 六年 六分
 十錢以上何程ニテモ御預リ申候
 静岡貯蓄銀行代理店

(口付ノ四)

新渡米 第一章 學生の渡米問答



新渡米

第一章 學生の渡米問答

出版協會編

なに君は西米利加へ行きたいか、行き賜へ行き賜へ、大に行き賜へ、遠慮にや及ばない早速行けばよいぢやないか、相談も何もいつた譯の物ぢやないよ、君は今迄何處に居つて何をし居つたのだ、そうか牛乳配達と新聞配達とをして居つて歳齡は廿四だと、さうか、君餘程つまらぬ事をして居つた者ぢやないか、左様な苦しい仕事をして居つて學問を修める事が出来るものか、而してもう廿四歳だと謂ふ様ぢや見込はないぢやないか、全體左様な苦しい思ひをして學問したつて駄目ぢやないか、今に滋養分缺乏で身體虛弱になつて、何の役にも立たない人間に成る、全體君の顔色を鏡で見賜へ青く成つて居るよ。

第一章 學生の渡米問答

(一)

若等が日本に居つて、然かも此の重負の真中で、金も持たず、頼む人もなくして、勉強しよう等と無頼無事な事を考へるのが、大の問題だ、彼を負ふて名士の門を叩くとは昔の事だ、其れも僕等が高學博識にて學問の時代ならば、人間が少なかつたから、苦學もよかつたが、最早此頃の東京は人間が餘つて、第一居所がないと謂ふ様な始末ぢやないか、労働の餘暇に勉強處でなくて、労働して喰ふ支でも容易ぢやありやしない、此の鹽海ぢや、今に人が人を喰ふ様に成るだらう。

君は何をする爲に亞米利加に行たいのだ。私は學問をしながら傍ら金も貯めたいのです。そら結構、併し其れは餘り欲張り過ぎる、そら出来ないと、學問か金貯めか、何方か一方でなければならぬ、亞米利加でつて金儲けが容易に得つて居るのぢやなし、晝寝して居つて學問が上達する譯ぢやないのだから、其れでは兩者は全然出来せんか。全然出来ぬ事もなひが、甚だ困難だ、なにに困難は地へ忍び升、そら生意氣だその困難が忍ばれるなら、日本で忍んで苦學する方も忍ばれぬ事はあるまい、君は慾が深過ぎるよ、同時に二者は困難だから、先づ一つからやるべへ行ぐが宜しい、全體多くの人が餘り欲張り過ぎるから

皆失敗するのぢや。

それでは私は學問一方にしますよ、併し私の様な未だ語學も解らず、日本の學問と申しても、漸く中學校を卒業した計りの青年が、學費も持たずに、學問が出来るといふか。勿論出来るとも、學問があつたり學費があつたりして勉強する位ならば、別に亞米利加に行かなくとも日本で出来るぢやないか、何物をも持ぬから行き賜へと勤めるのぢやないか、解つたか。よく解り升た、併し亞米利加に渡ってから、言葉も辨へぬ者が何んな仕事をして勉強するので、教へて下さい。

左様言葉を知らなげや、大邊に割が悪いから、會話の本に付て毎日五ツ宛でも暗誦し給へ一ヶ月に百五十の詞を覺へる勘定だから、それで澤山だ、其上終の附録に會話が添えてあるから船中で暗誦して置き渡米の上は相手が皆使つて居るから直に覺えるよ。會話書ですか、種々あります廿世紀會話など普通話が澤山あるから宜しいでしょう。

第一合衆國には常に労働者が大不足を告げて居るのだから、割合に正直な、割合に勤勉な、割合に賃銀の安い、我が労働者を非常に悦んで迎へる。

仕事の種類は何百種でもある、君等が行けば一ヶ月も遊ぶ様な事は決してない、先づ第一に桑港に行くとする、渡航中船中に於て、日本人の同航者が、少なくとも必ず數十名は
ある、其内には再航者もあれば三航者もある、各々亞米利加道で第一服装もハイカラだ、
其人によく事情は聞いた、上陸の際又は上陸後の事迄世話を頼む事にするが宜しい、然
し左様なハイカラには、時々新来者を誰つて悪い事をする奴も居るから、氣を附けて誰さ
れてはならぬ。

何だか餘り何事も容易過ぎる様ですが、もう少し委しく伺ひたい者です。借ても君は心配
性な男だ、ちや尚ほ委しく聞かせよう。

亞米利加で勉強する順序が宜しい、君が桑港に上陸して日本人の團體の在る所に行くの
です、左様日本人の團體は幾もある。

- 一福音會 グリー街七百廿五番
Japanese Gospel Society. 725 Geary St. S.F. cal

- 一以教會 バイン街千三百二十九番

Japanese M. E. Church.
1329. Pine St.
San Francisco.

- 一基督教青年會 バーン街百二十一番
Japanese Y. M. C. A.

121. Haight St.
San Francisco.

- 一長老教會 ナロムペンション街廿四番
Japanese Presbyterian Mission.

24. Prospect place.
San Francisco.

- 一日本人聖公會 バイン街十番
Japanese Episcopal Mission.

「お、ク、何人、何の、」

「San Francisco, Association」

「John, Miss No」

「San Francisco」

今語つた様に澤山出るから、何方へでも行く。何方の、四分五分、並して、皆宗教
 團體だから、三つ、親切だよ。
 其處に行つて、先づ幹事の様な人に逢つて、話を告げて、種々君の目的を説
 し、第一に其處に置いて貰ふのさ。食料は一週間に三兩位から安い物さ。純潔器具
 があるから大丈夫だ、左様な親かなまで君の様に心配した日には、自分の家より外には
 出られる者ぢやないさ。
 教會の一週間は水くして二週間は居る間には、時より遊々来る人もあるから其れ等にもよ

く頼むが宜しい、然すれば働きの口が直に見付かるよ、其れは例の名高いメンソール、ポリー
 と云ふ仕事だ、其時に君に英語が出来なければ、君の居る處の教會の人を頼むのだ、而し
 て君と同道して掛合に行くさ、其れから先方の雇ふて呉れると謂ふ家に行くよ、婆さんか
 又は妻君が出て来る、其處で君は黙して居る、同道者が種々な事を定める、而して其日か
 ら君は其處に働く事に成る、其契約の模様は先づこゝぢや。

私は教會から来ました、あなたの處にポリーが入用だとの事を伺つて参りました。よく御
 出でなさつた入用です、併し私の家には日本から来た計りの、眞面目な正直なポリーが怒
 いのです、勿論言葉は能く辨らなくても宜しい。家の娘が親切に教へて上げる、書物も教
 へて上げるから、其處に居る人か。左様で御座り升。左様か大變によさそうなポリーだ。
 はい御變によいポリーです、左様なら今日から御頼み申し度いのですが。宜しい今日から
 宅に来なさい、何にもかも教へて上るから。左様なら御頼み申します、給料は何程下さい
 升か。左様一週間に一弗宛地ひますよ、又段々仕事が出来れば成つたら一弗五十仙宛も
 地ひます。其れで宜しい其れから家族は幾人居られ升か。家族は私と主人と娘が二人合せ

て四人です。其れではボートの恩恵は御座りませぬ。精進な奇麗な室がある。では見せて下さい。成程此れは奇麗な室です。御は何時に起きて夜は何時迄仕立したら仕舞ふのですか。左儀朝六時に起きて朝飯の仕立を爲し、八時半に講義に出で、歸して午後正四時に歸つて來れば宜しうして、午後の四時から夕飯の仕立及び雜事を取掛り、晩食を七時半に終り、洗濯し片付て後は自分の勝手とするが宜しい。而して一週間に一日十時日本に歸校を休んだから朝から晩まで働かなければならぬ、勿論日曜日は一時から夕刻迄外に出る遊んでも宜しい。左様なら宜敷御願ひ申上。

先づつと右の様な方法で契約が成立つのだ。左様ですか。而して日本の様に身元引取りとか保証人とか請入願な事は何人に願ひのですか。左様な者は決して必要はない。蓋し日本では、保証人だとか何とか七面八面喚ひ事をすればならぬ。御は本人が同意がなれば、例へば六厘の保証人があつても何にもならぬぢやないか。亞米利加人は左様な愚な事は決してしないよ。左様な事は心配に成ればお任せし、御が其處に働く事に契約して仕事をなさる事になる。然すると君は、御は天だと思ふにせよ。併し此れが大丈夫でないのを、大體御

來者の十中七八迄は、一二の所は専ら外生から放逐される。其れは驚き弁な。なは驚く事はない其れは普通の事だから放逐されて始めて經驗を得るのだから、先づ一二ヶ月の間は放逐されたり、失策したりして、段々色々な事が辨えて來る。放逐もされなく成る失策もしない。學校にも入學が出來たと成る、それから君の辨れた、謂所天下安危の別目の處で君が目的を達してマスターオブアーツかドクトルの名譽を獲得し、或は歸國に歸ると否とは此の瞬間にあるのだ。此れからの話を真を淡くつて聞かす。

御て日本から亞米利加に學問に行つた者は山程澤山居る。然かも十年も十五年も彼地に行つて何一物をも得ず歸つて來る人が澤山居る。否な何故に或物を捕へて歸朝する者が少くないかと云へば、
第一に、日本に居る時でさへ餘り勉強が好きの書生さんが、及びも附かぬ大望を抱き、キト山を風呂敷に包んで太平洋を一呑みにやらせ、無様な願望を抱きて渡來する者、第二に苦學生には無くてならぬ忍耐と調へる要素を全然缺いて居る者、第三に日本に居つて働くに比すれば幾十倍の多額の報酬を得らるゝ爲め、遂に憤死する者。

大概三つの原因で失敗する様だ、まあよく考へて見賜へ、餘り勉強家でもなく、天才もな
く、日本に居る頃は、下宿屋の二階に於て極めて不規則、極めて粗暴な生活して居て僅か
一枚の三錢切手で、廿圓も卅圓も巻き上げて苦勞の何物たるを少しも知らなかつた青年が
世界一とも謂はれる米國に赤手で渡つて、苦學を企て、奉公中僅か計り主人に無理を謂は
れたとて、吾輩は日本男子なるぞ、貴様の様な赤髯に勞働は賣るが精神迄は賣らないぞな
ど、一寸した事迄も怒り、直ちに飛び出す、金が少しあれば、朋友を誘ひ、酒店や、南
京料理屋に出掛けるのだ、左様なことで何が出来る者か、何人が考へても駄目な事は明ら
かに解せらるゝぢやないか、古人の事は言はないが、現に今日我國でも人の上に立つて仕
事する人の經歷を聞いて見よ、實際に力あり技量ある人は、昔年若い時分には生死の苦み
をして居るでないか。

其れから第一よくない事は、仕事を容易に求めらるゝ結果、働か先きの主人が少しく意地
が悪いとか、少しく時間外の仕事を申付るとか云ふて、直ちに喧嘩をやり始める、こんな
苦しい家に勞働せなくても、別で働く所は澤山ある、此の家は止して仕舞へと短氣を出さ

然するとも國の古き日本人等も共に勤めて、其れは止めた方が宜しいと氣取する、
出して渡人するものだが、直派な紳士に成つて居る人も、實に數へきれない程あるが、僕の

親友ばかりでも、澤山居る、名前が御預りとして一人の朋友を紹介しよう、只今キヤリフ

の、加里保留居亞細で、スタイルボーイを、十年近くして居たが、遂に成る大學を卒業

して、只今其大學に教鞭を取つて居るのだ、僅かな金を得れども、其人は卒業した時は四

百圓に近い金を貯蓄して居た、加之に在米中十數年間、郷里又は他人より一厘の補助をも

受けた事はなかつた、如斯正直に眞面目に勵志して勉強する人は、尙る普通の能力を具へ

て居る人間ならば、誰人にも出来ぬ事だ、
今説いたのは、スタイルボーイとしての成功だが、其他にも進出して修業する方法は何種
でもあり、此處に一つ餘り危の人等が知つてゐない、吾々餘り報告してない修業の方法を
教へよう、此れは極々安全にして、スタイルボーイよりも、幾層倍容易で氣樂で頭を下が

なくて出来る方法である。

學校の名は創設者の名を取つて、ラスキン、カーレツジと云ふのである。
位置、北米合衆國にあるラスキン、ホールの模範學校として建てられた、ミシシッピ河の上流、合衆國の中央に當る、カンサス市の北の方百哩の處に在つて、僅か六千の人口を有つて居る、眞に小さな市の、ミズリ州トレントンに在る、此れはあの名高い十九世紀の大文豪で、社會改良家である、デヨン、ラスキンの企畫したのであるが、彼れが私産數十萬を投げ出し、知識の發達を企てたのみでなく、其れ以上の道徳と努力との發達を計る爲めに、企てた者であつて、彼れは、本國なる、英國に建たるのみに満足が出来ずして、大西洋を超へて米國に迄建設したのは西曆一千九百年の十一月であつた、而して教へる學科は、カーレツジ、コース——美術、商業、教育、語學、文學、數學、音樂、理化、哲學宗教、社會學等。

選科——音樂科、商業科、工藝科、裁縫科、家政科。
毎の如き科目であつて、其數も加へる米國でナキの學者だ、第一にはウイン氏の

此の人は廣敷しある學者社會、然も黄金と權門の前には、主義も眞理も失へる多くの簡落學者の世に立つて、カンサス州立高等農林學校に奉職の際、忌憚なく經濟問題を解釋した爲に、放逐せられ、此學校に來つて社會學の講座を擔任して居る、其れから、米國の紙上侃々諤々の議論を以て、政治及社會問題の解釋に有名なる、法學兼哲學博士のポストン大學校の教授バアン氏、其れから校長としては温厚にして博學の聞へ高き哲學博士マイラ一氏、其他孰れも知名の學者計りである、未だ設立の日が淺いから有效のカーレツジとしては、世人の多くに知られないけれども、眞理に忠實なる教授は、米國廣しと雖も實に稀な者だ、況んや經濟問題の解釋に於てをやだ、然るに此の間に立つて世に簡らざる教授を有つて居るラスキン、カーレツジは、今後有數の又最も他の尊敬を拂ふ學校たる事は決して疑ない。

此の學校は附屬の耕作地として、一千五百エーカーの地を有し穀類及野菜等を植附け、貧しき學生を勞働せしめ、學費を支出せしむる方法である。
其れから附屬製造場として、一萬六千弗の資本を投じ、重に野菜類の鑑詰を爲し、其他に

も裁縫だの洗濯等の事業にも従事する様に成つて居る。就學中の費用は、如斯く、學校内にて労働する様に成つて居るから、貧書生は四年間の修學中、最初に百廿五弗を納めて置いて、而して毎週卅時間宛、即ち日曜日を除き一日に五時間平均宛働さへすれば、一切の費用は悉く學校が負擔して呉れるのだから實に安氣な者だ。

而して全くの貧書生で、最初の百廿五弗の金を納むる事が出来ない場合には、學校の方から無利息貸與を許し、全科卒業の後に、猶學校に止まりて一ヶ年内労働せしめて返濟せしむる方法も設けてある。

此れだ、斯様な香氣な方法に依つて、學問が出来、而して肩書まで得らるゝと申す譯であるから、日本の苦學生が、何んで行かずに居られうか、而して、如斯く便利な處があるのに、

此れを知り乍ら、どうして渡米を奨励せず居られやうか考へて見給へ。其れは大變に結構な學校ですね、併し四ヶ年間も學校に居る間には、小使錢も澤山要する筈ですが、左様な金は如何致しませうか、其れは後でよく聞かせるが、亞米利加の學校

は、夏の休が頗る永いから、其休みの時を利用して働さへすれば、小使錢等は餘り過當で仕方がない位だ、此の一夏期に百圓位の収入は何でもないさ。

其他苦學の方法をも少し話そう、今度は紐育邊即ち東方に居る學生のやり方だ。學生に三種類ありて、各其氣風が違ふ。

第一は政府の金を貰ひ遊學する種類で、此等は後日日本に歸つて、役人様に成つて濟し込ひ連中だ。

第二は、有資學生で、此れは財産家の子弟等であるから、勿論金は有り餘る連中だ、彼地に在つて遊び半分勉強して、歸り度く成つて來た時分には、學校の肩書を金で貰ひ、濟して歸つて來る、あの高い襟を掛け、ステッキを振り廻し危険で側にも近づかれない連中、即ちハイカラと申す人達は、此の組である。

第三には無資學生だ、此の無資學生の内にも、亦二種類ある、其の一は宗教學生である、教會の金を勞せずして貰ひ、傳道者の補助をしたり、或は耶穌信者から慈善金を貰ひ、而して學校に入り勉強する、其れから學校を卒業して仕舞へば、宗教も何も一切御構ひなし

と謂ふ才子が深山に居る、彼等一校中には、同僚の書目を列べて立てたり、又は無き事まであるかの如く日本の事を罵倒して、日本人の教心を罵ひ、金を得る人もある。他の一は字の如く無費學生で、金は一文も持たぬ。又何人からも一厘の補助も受けない、自分の氣力と腕より外の物には決して依頼せぬ人等で、健氣にも一途に異國に居つて、強力自費、自己働を待たる金に依つて生活し、且つ學ぶのである。吾輩が日本の青年諸君に勧め度いと謂ふのも、此の部類の人である、今東部に於ける此等の人々の苦學の仕方をお話さう。

先づ第一に學校に入學するときの月謝を自分の腕に依つて貯蓄する、而して小學校なり、中學校なり、大學校なり、學ぶ人の學力に應じて試験を受けて入學する、其れ迄の苦心も一過りではない、愈々入學すると、書物は借して呉れる、一生懸命勉強する、而して其人の貯金が次期の夏期休業まで有れば結構だが、夏期前に種々の費用の爲めに消費し盡す場合に立至る事が多い、其時は又もや校外に働きに出る、勿論其間は休學せねばならぬ、而して漸く多少の金を得ると、又學校に歸つて来て死物狂ひに修學する、又金が無くなる、然すると又前の如く、休學労働する、此の如くする事幾度を経過して、始めて眞流なる紳士の

學者は出來上がるのだ。

學費を造る方法が、左様、色々ある。

第一に長き夏期休暇を利用して、此の四ヶ月の間に八ヶ月間を支へる丈の學費を造る者も澤山ある、仕事の種類は、**農業**、船乗、家庭内の労働、の三種である、其内に最も得易きは農業である、夏期は農業非常に多忙の時だから、幾許の労働者があつても不足を告げるのである、林檎、桃、梨、葡萄、杏、李等の摘取が最も多い、ナ―に其れ等の仕事は、経験も何にもいつた物ぢやない、只多數の人々と同じ所にて同じ仕事をするのだから、何んでもない、賃銀の事は後で話すが、どの仕事でも一日二弗以上は得らるゝ、一ヶ月には六十弗、四ヶ月間には二百四十弗取れる譯だ、即ち此の金で勉強するのだ。

其次ぎにはヤット船、此は富豪連の所有に係るもので、夏期避暑の爲め此の船で、處々方遊んで行くので、汽船も、帆船もある、大きな船は千噸以上のもある、有名金の持主ゴ―ルドは、歐洲や、日本迄も遊びに来る、郵船會社の極々上等な船も及ばぬ程立派な者だ、普通五百噸位のが最も多い、勿論富豪等が金の棄て場に困つて、金を撒く爲めに、造

られた機だから、乗込員の給料も、御話にならぬ程高給である。而して此類に、料理人等は、助長として雇はれる月給は、四十弗以上八十弗位を得られる。

其次は家庭内の勞働だが、此れは學生の夏期休暇の仕事としては、給料が安いから餘り面白くはないが、稀に働く人がある。

第二は、最も多く東部には在る學生が取る方法である、即ち金を得る仕事は、何んでも御座れ、種類を推ばす、正業でさへあれば、火の中を走る、水の中を泳はせ、百斤、薪切り、庭師、漁師、舟乗、鐵道工夫、商店小僧受附、會社や團圓を營者の事務員、家扶、給仕、接待人、帳房、料理人、函使、理髮師、洗濯屋、総日商、行商、馬子、何んでもやらぬ者は、ない、ど一だ驚くたろ、日本の苦學生と云ふのが違ふたろ。

勿論、彼等の苦心と云ふ者は非常な者だ、時に依てパンと水のみで、肉もなく野菜もなく、平然として學んで居る時がある、序に米國の學校種類と學制の大略を教へて置こう。

一、カインダーガーデン又はプライマリー、スクール(幼稚園)此れは未だ餘り發達して居ない。

一、グラマンマー、スクール(小學校)此れに至る處、非常に盛んな者で、世界第一だと謂ふ談だ、其卒業生は我中學の三年を卒へたる者と同じく、世の中に出で、仕事を爲る時は、日本の中學卒業生以上の力がある。

一、ハイ、スクール(高等學校)、グラマスクール卒業生を就學せしむる學校であつて、四ケ年で卒業する、ハイ、スクールと同じ程度の學校で、アカデミーと云へる大學の豫備校がある、エールや、ハーバート大學の如きは、フリッププス及エキセター、アカデミー等の間接豫備校を持つて居る、此等は皆私立で、主なる研究科目はギリキ、ラテン、數學等で、大學の教育を受くる目的で學ぶ學校である。

一、ユニヴァシチー及びカレッジ(大學校)、ユニヴァシチーは高等なる専門の學科を教授する各分科大學の總稱である、大學では皆な學士號若くは博士號と與ふるのであるから、其卒業生は米國文學士とか文學博士とか哲學博士とか云ふて日本に歸て巾を利かす先生達で、即ちバアチエラーオブアーツとかマスターオブアーツとかドクトルオブフロンティア

と謂ふのだ、カレッジと云ふも單に云へば大學と意味するのだが各分科大學を稱してカ

果物摘採の中心で、最も利益の出る果物は、多量の労働者を要するの故、オランダ人と近隣の
 からのフランス人近隣の葡萄摘採である。此處は労働者の殊に日本人労働者の金庫と稱せられて
 居る。葡萄や其他果物の量なるには、同地方の鐵道枕木が非常の波損を受くると謂ふ
 のに依り、其有様如何を知るべきである。葡萄摘採の仕事を従事して、能く熟練したる人
 は、一日三弗乃至四弗の賃金を得る事は通常である。併し此の仕事は七月、八月の三ヶ月
 間最も熱しき季節で、樹木一本もなく、見渡す限り一面葡萄ばかり、儼の一寸もなる隙地か
 ら、身體の健康は勿論、又頗る耐熱の強さ入らなければならぬ。氣候の燥化熱しき
 爲り、多數の同胞の内には、熱病の爲り倒れる者が時々ある。勿論、病者は平日不養生
 して、太陽の光線を受けたる果實を喰つたり、裸りに多量の水を飲み、客貨を運送するの少くも
 物を喰ふ者が最も多い。衛生を怠る人は決して使はれない。
 ハツプス稱（此れは、又或た菓手製を焼く時及びビール製造の時）に謂ふが如し、此處
 にも葡萄と同様の果物の摘採に要するオランダ人と、ポルトランド及びオーストリア人等近

あつて、六七八月より追々忙しく其收穫期の九月に成ると、多數の様々なる人種が集まる、
 加之も、老幼男女も混入だから實に面白い、日本人もあり支那人もあり、印度人もあり、
 黒人もあり、佛英獨人、恰も人種の展覽會だ、此等の労働者が面白半分に競争して、ハツ
 プスを箱に摘み取る有様は、淺草の玉乗りを観るよりも尙ほ新來者には面白く感ずる、一
 箱に滿つればホームマン（人夫取締）より切符と交換する、此の仕事は大きな男子も、幼き
 女子も格別違ひはない、何處かと謂へば、指先で摘取るのみだから、忍耐の強き者が勝
 だ、此の仕事をするには、朝未明に起きて、少し露の含んで居る内に摘み取るときは、
 膨脹するが、日中には露の蒸騰したる後であるから箱一盃に滿すは容易でない、而してよ
 く働くものは一日に二弗以上三弗の収入がある。
 蜜柑摘、ローサンチエルスから五十哩位の田舎にて、リヴァーサイドと云へる處に、名高
 い蜜柑畑がある、中には十哩四方の園もある、三月頃から八月頃迄の間は無数の労働者を
 要する、而して収入も頗る多い、一箱摘んで三仙、仕事が多忙にして労働者の不足な時に
 は、五仙取れる時もある、通例の人にて一日に六十箱位摘む、能く働く人は八十箱から百

諸藩に人をもつる、花から一月に二部から四部位迄の人数が得られる、其の代り一月の内は廿日乃至廿五日位の間、五月乃至十日間位の仕事の無い時がある、密掛揃ひ時は右の肩から左の腰下に、斜に袋をぶら下げ、三袋を背け、右の手に短刀を持ち、長さ二間乃至三間位の短刀を太らな密掛の様に掛け、揃ひのである、此の仕事も踊る樂ではなけれども、亦踊る面白、一本の密掛の村に日本人が登つて居る、前には袋で塗つた様な黒い人間が登つて居る、後ろの腰には白人が、右の背には頭の上に見の附いた支那人が、左の腰には密掛の土人が登つて居る、と謂ふ様な譯で、御互ひに面白く合ふのが實に笑止である、隣村に登つて居る人の顔を見れば、御互ひに面白く合ふのが實に笑止である、

此の時間に成ると、密掛者が澤山出入り込むので、借る家もないから、大抵道路の傍ら、又は密掛村の片間に、團士の許を得て、天幕を張り、二人又は三人宛位連合して、住みすゝる、彼處にも此處にも、至る處天幕を張り、全然戦争中の陣屋の様である、此の連中が、何曜日には休むから、金を天幕の中に入れて出して来て、角力を取る、團別にしても、引

きとある、雲に籠るな遊戯だはれと云、真に面白、今度何、黒人が負けた、又今度何、支那人が負けた、抑て今度は白人のドンゴリが負けた、又今度は高麗だ日本人が勝つた、其度毎に負けた方も勝つた方も詰るする、真に無邪氣で面白い、

此の仕事は勿論無償に依て仕事の多寡はあるけれども、亦四對仕事の絶へる時はない、此の仕事の如きは、三四月頃より始まつて、十一月頃迄に亘り働いて、賞金も一兩十五兩から二兩も取れる、而して、此の仕事は一月の間は、十日間位は休む事がある、其切りは、夏の忙しき仕事を終り、澤山御金を貯めてから後にやる仕事で、賞金も一兩一兩乃至一兩二十五兩位宛得らるゝ、

其他色々雑多の仕事を通して立つれば、制限もなない、餘り煩雜だから止すが、併しもう一つの趣きも、

庭師、此れは日本人の殆んど獨特の技藝である、已に、米國人の間に、非常に珍重がられて居る、故に聊か心得のある者が彼地に行つて、金儲けしようと思へば、其が容易だ、近頃米國人は、非常になんで日本風の庭造りを産ふ、其仕事は又極簡單で、草木に水を撒く

とか、雑草を刈るとか、枯葉を掃くとか、管に仕事が出来たのみでない。立派なる技
 術家だから、待遇もスクールボーイやコックの比でない。殊に庭園師を使ふ位の家は富豪
 の家だから、凡てが寛大で、月給が高いと来て居るから、重寶だ、加之も時節働さでなく
 て、年中の雇ひ切りだから尙更結構だ。

渡米志願の農業者に、切に注意したいと思ふのは、彼地に渡つて、金を儲けて歸國すると
 言ふ様な根性を全然棄て、地主に成らねばならぬ。全體斯様な決くるしい何程働いても
 金の残らない國を矢鱈無暗に戀しがつて、折角彼地に在つて少し許りの金を得ると、直ぐ
 に日本に歸つて仕舞ふから、何のやくにも立たない。彼地にて地主と成る事が、非常に困難
 な事であるならば兎に角、若し日本に於て商店の小僧が、番當と成り、進んで、極儲かばか
 りの小さな商店の主人と成る、辛抱しても駄目なことだ。併彼地では只耐忍力さへあらば、
 立派な地主に成れる、其他の物は何にも必要はないのだから、切に勤むるのだ。
 左様に容易に地主に成れますか。否な左様容易くは出来ない作し耐忍しなへすれば出来る
 と申すのぢや、其順序を君の胸に話して聞かせよう。

此が彼地に行つて仕事の間たるを聞かす。一先總命働く年六七年、或は五年、宜しいか
 成して先づ日本の土産に成る第一の金額千弗を貯蓄、第二に經驗を積む。一先貯つて了ま
 り、六七年で左様な大金が貯つて了る。勿論、算盤取つて見詰へ、先刻款へた通り、儲
 けは出来るぢやないか。君が酒が好きなら時々は飲んでも宜しが、賭博を、女郎にさへ引か
 せさへしなければ大丈夫だ。其處で金は貯めた、歸國し出来た、さう斯くすると、早
 速歸國すれば日本に歸り度い、然るに歸つて意強り度いと云ふ順序だが
 そこのところを考慮して一歩踏み止める、而して土地を購ふに金を蓄して置ふか、又は借
 り入れて小作人と成るか、更に其自分である氣ならば、初めは何れでも宜しい。
 土地の買ひ入れ又は借り入れの方法は、實に容易にして安價な物だ、而して又便利に成つ
 て居る。太平洋沿岸の方で、カリフォルニア州の如きは、氣候は非常に溫和で日本と大差
 ない、而して土地の肥沃度餘なる事は、天下無難だ、加之も田舎に深く行くものなら、
 沃野千里と謂ふ譯である。併し此の沃野千里は、日本の北海道に於けるが如き者とは段々
 遠く、北流道は冬は雪が深く、農作と困難だ、六箇して、幾つて居るのみならず、霜

ともすれば、熊等の進撃を受ける様な危険な譯だが、亞米利加のは、穴籠りする様な雪が降るでなし、見事な雑草が心地よく繁茂し、栗鼠等が面白そうに跳廻つて居る。

日本で土地と謂へば、先祖傳來の寶物であるから、僅かに數反歩の田地でも、買ふとすれば容易でないが、亞米利加では一種の賣品で、(勿論都市の土地は日本よりも困難だ)あるから、此れを買ふのは御菓子か野菜を買ふのと同じだ、亞米利加は土地と資本は有り餘つて仕方がない程澤山あるが、肝心の勞働者が不足であるから、如何とも仕方がないのだ、此處に至つてカール、マークスの資本論が愈々光輝燦然と放つ處だ、其れは兎も角として若し地面を買はんと欲する者があれば、勿論國の差別はない、何國人にでも賣る、地主と交渉さへすれば、殆んど無代價同然の方法で、借地又は買得する事が出来る、現に日本人にしてカストロピルでは四百エーカー以上の(一エーカーは日本の四反歩強である)地面を握つて、盛に大根や林檎樹等を植へ付け、非常に利益を得つゝある人も居る、フレスノでは既に獨立して葡萄園を持つて居る者も澤山居る、數へ立つれば限りはない。

人數の澤山居る人は、小作者として最も多く儲け、現金借地、又は收獲分配法に依て、農

園を果園に替へする人等は、年々一人に替へる一千弗乃至數千弗の純益を得て居る、カリフォルニア州の内陸の小作人は日本人が多數を占めて居る、日本人が小作として居る土地の反別を謂へば、

●フレスノ附近

現金借地にして、葡萄園を植付けたる者、五百七十五エーカー。

●ウツタワグローク附近

現金借地にして、葡萄園を植付けたる者、九百エーカー。

現金借地にして、葡萄園を植付けたる者、九百五十一エーカー。

●ウツタワグローク附近

現金借地にして、葡萄園を植付けたる者、二百三十一エーカー。

現金借地にして、葡萄園を植付けたる者、三百五十五エーカー。

●サクラメント附近

現金借地にして、葡萄園を植付けたる者、二百三十一エーカー。

現金借地にして、葡萄園を植付けたる者、八百九十六エーカー。

現金借地にして、葡萄園を植付けたる者、二百三十一エーカー。

●サンオーキンのスタクトン附近
現金借地にして、野菜及果物を栽培する者、千六百二十一エーカー。
收穫分配地にして、野菜及果物を栽培する者、千九百九十一エーカー。

●プレサリーのペンリン附近
收穫分配地にして、果物栽培する者、千五百二十七エーカー。

右の六ヶ所は只重なる者のみを挙げたのであるが、其他にも細かに挙げれば限りはない。ドーダ君大に奮發しては、此等の人は日本から金を持つて渡つた人は一人もない、皆彼地にて耐忍して働いた金でやつて居るのだ又は四五名にて協同して資本を出し合せて、始めるのだ、君此の事實を聞いては行かすには居られまい。

成程大變に結構な處ですな、夢ぢやないか虚言ぢやないかと思ふ位ですな、其土地は成程位の値段なものでしようか。

其れは矢張り處に由て相違がある、先達てサクラメントの、日本人勸業社と云へる社で、日本人農業者をして、極簡易な方法で土地買得の事を周施する社から、賣地及借地の廣告を出して居つた、それは是である。

見落す勿れ

大好評

二十世紀 日英會話

第五版

七號活字袖珍ボケツト入美本

全一冊 金十四錢 郵税四錢

本書ハ從來ノ會話篇ト其選チ異ニシ篇ヲ五篇ニ分チ、更ニ之ヲ分チテ二百餘項目トス、字母五十音ノ說明ヨリ起リ日常必要ナル單語ハ荷モ一トシテ網羅セザルハナシ、而シテ商業上特別ナル單語ニ至リテハ別ニ一門ヲ設ケ專門ナル學者ノ協參ヲ得一々之ニ叮嚀ナル註釋ヲ施シ宛然商業辭書ノ觀ヲ呈ス、會話ニハ普通部門アリ商業及技術ニ關スル部門アリ各其部門ニ從ヒ、會話ナハるは順ニ依テ羅列ス、爲ニ索引ニ便ナルコト並ニ物ヲ探スル如シ、又通信ノ部門ニ於テハ普通手紙ノ綴リ方ハ勿論、受取證書、手形、決算書等ノ形式ヨリ此等ノ用語上ノ注意ニ至ル迄詳細ニ記載說明セラレ且ツ荷モ交際通信上ニ用ユル會話ハ、冒頭語ヨリ結尾語ニ至ルマテ、類ヲ異ニシ、品ヲ變ヘ之ヲ網羅ス、如何ニ文句ヲ豐富ニシ饒多ナル手紙ト雖ドモ本書ニ依ツテ其綴作ノ成ラザルハナシ、此ニ於テ亦々實ニ純然タル一箇ノ作文全書ト成スベキモノナリ、而シテ雜門ニ於テハ到底他ノ書物ヲ以テ學ビ克ハザル、廣告、看板用語、荷物ノ表記、商用略語、俚言、俗語等ノ卑近ナルモノ迄、細大漏ラズ記述シタレバ、之レ實ニ二十世紀ノ名ニ背カズ普通一篇ノ書ト同一比ニ非ラザルナリ、乞フ何人チ問ハズ荷モ英語ヲ能クセントスルモノ一本ヲ讀ニシ新道ノ一助タラシメヨ

和英作文辭彙

大好評 忽三版

定價 八十五錢
郵税 四錢
紙數 六百六十四頁

東京市東區本橋本區本區三丁目三番地
大坂市南區本區本區三丁目三番地
支店 美堂 鍾堂 支本 店

(中付印ノ)

服装の重宝は諸君に見るべき

米國最近流行珍柄背三ノ前

銀十五圓一十金 價代 夏カ、セア
銀十五圓一十金 價代 銀子、黒毛織

スチパンイ、オー、コー、オー

銀十五圓一十金 價代 夏カ、セア
銀十五圓一十金 價代 銀子、黒毛織

其也各種御問合せの節は本見を呈す

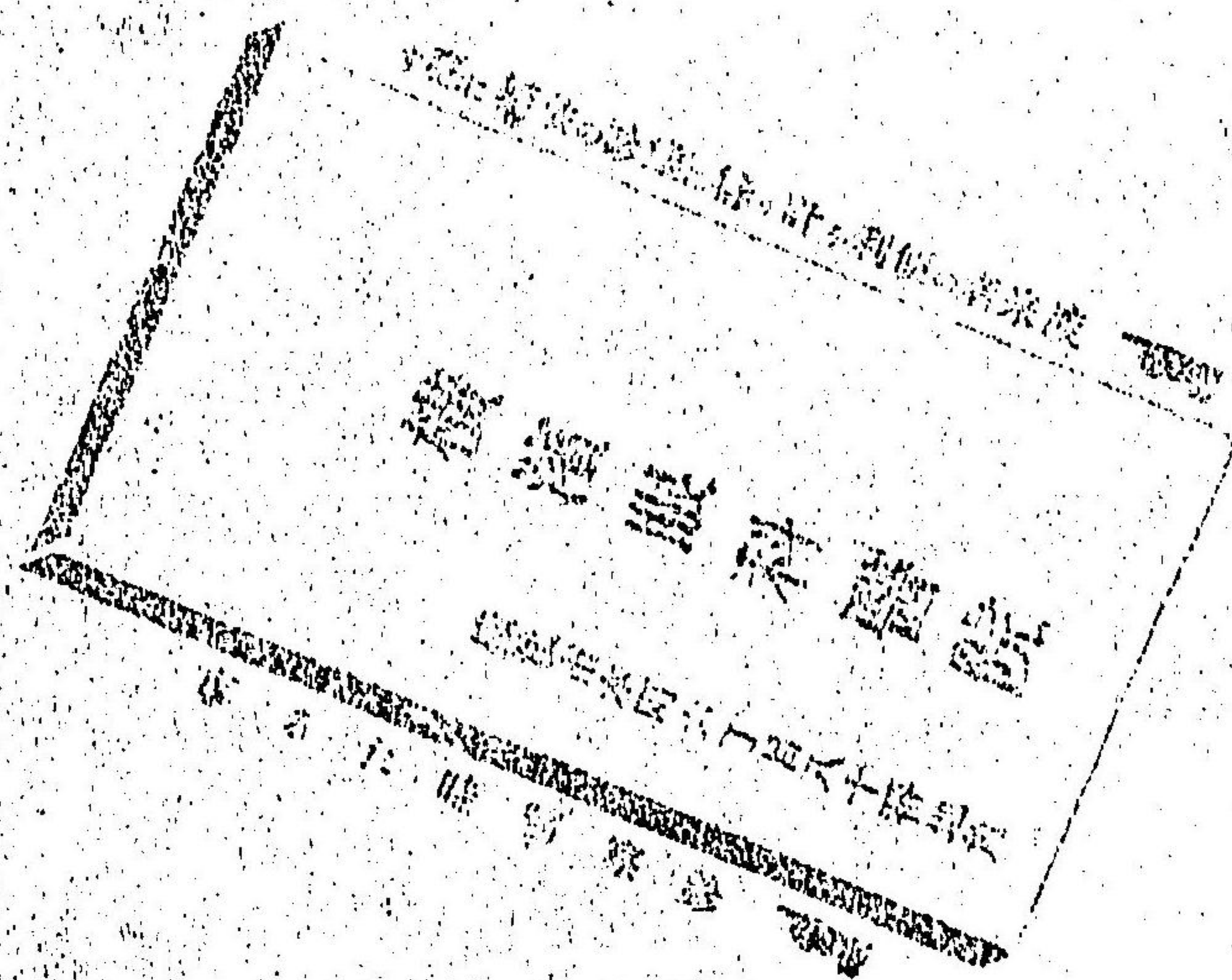
洋服店

關口商會

東京市橋本區三丁目五番地

電話一〇七六番

電話一〇七六番



賣地及貸地廣告

- ▲三百廿二エーカー、フロロリンより北方四哩
代價一エーカーに付金廿五弗 ▲二エーカー以上賣渡申候 ▲契約の際一エーカーに付金五弗拂込 ▲翌年より一エーカーに付金四弗宛年賦拂
- ▲百八十一エーカー、フロロリン附近
代價一エーカーに付金十七弗 ▲四エーカー以上賣渡申候 ▲契約の際一エーカーに付五弗拂込 ▲残金は一エーカーに付二弗宛年賦拂
- ▲三十一エーカー、フロロリン附近
賣價千七百弗 ▲一エーカー、葡萄畑。一エーカー、梨畑 家一軒。厩。風車一臺。
- ▲八十一エーカー、フロロリンを去る二哩半
葎、葡萄畑に遺す ▲代價一エーカーに付廿七弗五十仙 ▲印金拂込一エーカーに付金五弗
- ▲四百四十一エーカー、アラサ郡エー、フツラスを去る三哩
葡萄及び葎畑に遺す ▲五エーカー以上賣渡し申候 ▲代價一エーカーに付金十五弗 ▲一エーカーに付き印金五弗拂込 ▲残金は十々年賦
- ▲三十五エーカー、フロロリンを去る三哩
葡萄畑六エーカー。家。厩付。 ▲賣價金二千二百七十五弗 ▲印金拂込金四百弗
- ▲八十一エーカー、フロロリンを去る三哩

第二章 農業の進展

買値金二千八百弗 買値金三三〇〇弗。家一軒。厩二棟。馬車二架。

▲三十一エーカー。 買値金一千弗

▲百六十五エーカー。 買値金一千弗。家一軒。小厩二棟。馬車一輛。厩一軒。内七十五エーカーアルファアルファ植付あり。 厩一軒。小厩二棟。馬車一輛。厩一軒。土地は野原に過ぎず。 買値金二一〇〇弗。 厩地料二千弗

▲五十二エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

▲百一十エーカー。 買値金二一〇〇弗。家一軒。厩一軒。馬車二架。 厩地料二千弗

の事だ、昨年の暮れの調査で見れば、フロリン村のみで四百二十三エーカー、エルグロ
に四十エーカーとフランスノ郡フランスにて百二十一エーカーの土地は既に日本人が買収し
て所有権を有つて居るとの事だ。
加州の首都なるサクランボから十哩位の處に、新日本村と稱へられて居る所がある、此
れはフロリンと申す小村である。
此の村の新日本村と唱へらるゝ迄に日本人が澤山入込んで、獨立の仕事をする迄の略歴を
述べれば。
明治廿六年の頃、中川某と寺田某との二三人が、米人の雇主から離れて獨立で僅かに八
エーカー計りの地面を借り受け、西洋苺の栽培を始めた處が、勿論地味豊沃で苺には適地
だから、耐忍労働の結果、四千弗以上の収入を得たので、引續き他にも獨立農園を開く者
が五六名出来て、雇人の地位を脱け大に憤發し愈々地盤を強固にした、此の中川某の如
きは、此れ迄なき早熟の苺を市場に賣り出して、白人仲買中に知らぬ者はない事に成つた
其れから此頃は五十餘戸の數多き獨立農業者が自營して居る。

成度候

日本人物業社

御座候

どうだ解つたか、加州保留地は、土地は低廉で、賃金は高く、加之土地を購ふに、現
金を支拂はなくてはならない。年賦納付の方法もある、實に第三で出世の出来る旨の山とは亞米利加

此處で栽培するものは極めて需用の廣い者であつて、日本などで食事の間に僅かばかり喰ふ様な者で無く、西洋では食事の際の嗜好物として必ず食卓の上に供し、又は菓子に製し、或は砂糖煮にして饅頭にし、デヤミを造る用途甚だ廣い、値段は一寸角の小箱に二重に並べ、初めの内は一箱二十五仙位で、盛んに摘み取る頃になると五仙位する、而して一エーカーの收穫は大體平均四五百弗である。

其れからもう一ヶ所ある桑港の南に當り百哩位の處にサンノボと云ふ市がある其附近にも、十數組の夫婦連の人たちが、土地を借りたり買つたりして藤を植付け、盛んに市場に送り出して、フロリン村と拮抗して、キヤリフオカニ州の藤は日本人の一手にて占領しようと思ふ盛況だ。

農業に就て話せば、實に三日か四日では盡きない、又特別に出世した農家の事を話せば、サクラメントの彼のポテト大王として有名な牛島氏の如きは年々數十萬弗の農産物を市場に供給して居る、其他にもまだあるけれども此等は先づ特別と謂ふてもよいが、今話したのは極々普通なので、健康なる海狗と耐忍さへあれば、何人にも出来る分を話したのだ。

どうだ君早速行つて、着手では、君が儲けた時は吾輩が借りに行くよ。もう此の位話したら解つただろう！

もう少し、土地を借りるとか買ふとかする時の有様を、話して下さい。

宜しい、君が土地を買ふとか、亦借り入れる時は、地方の町村に不動産の仲買屋が居て、各々事務所を控へて御客様を待設けて居るから、君が自身に其處に行つて、地圖を擴げて見る、然すれば先方では御叮嚀に色々説明をして聞かせる、價格は勿論地所に依て差はあるが、一エーカー(日本の四反歩餘)で極安き所は五弗、極高い所は百弗まである、普通の耕作地ならば一エーカー五十弗拂へば極上等の種類の土地が買はれる、其れから君が實地を見なければ、仲買屋は君を連れて行つて叮嚀に見せる、勿論手数料も何にも取らぬ、そこで先づ手附金を拂つて置く、手附金は地代千弗に對して十弗も拂へば宜しい。

も一ツの方法は即金拂ひと月賦拂との二種類ある、即金を拂ふ方は勿論安價だが、君の都合に由て五年でも十年拂ひ込みにでも約束する事を出来る、而して假契約を済まして後其土地が現に其の賣り主の者であるや、どうだか調査する必要がある、日本などでもよく

ある事だが、他人の畑を自分の者として賣り、又は他人の手に長價の批當品としてある品を、地主に買斷にて賣り飛ばし、其れを買つた人は、飛んた災難に逢ふことがある、左様な目に遇はぬ様にするのが必要だ、其れに就ては所有主が持つて居るアブストラクトオブ、レコードと稱へ、日本で謂へば所謂借券だ、其れには其土地の歴史から第一番目の持主から、現在の持主の事が委しく記してある、其れで此の借券をば手附金と引換へに取りて、所有權の調査出來次第に現金を渡すと云ふ契約をするのだ、然して此の借券を賣つて役所へ行つて掛りの役人に見せて、此の借券は正當の者か、又は、此の地面を買ふと思ふが故障はないだろーか、調べる呉れと云へば、役人は原簿と照合して呉れるから、故障がない事が判つたら、其旨説明書を添へさせて、調査料を一筆に就て四弗拂ふのだ、愈々此れが濟んで取引をする事になると、賣主と買主とが二人で、公證人事務所へ行つて、公正證書を進る、而して公證人の前で、此地所賣買の事を正に承認すると書をする、其れから賣買人兩方共に署名する、米國の署名は印は不要で自筆で署名するだけだ、其れで受け渡し、其時現金を渡す、賣主の持つて居る、此の土地に關する一切の古書文

と、新しく今作つた公正證書を受取る、其れから亞米利加では、夫婦の財産權が別に成つて居るから、若し賣主が妻の者であつた時には、其妻にも署名をして置かなければ馬鹿見する事があると知り賜へ、土地買賣の事は何國に於ても同じ事で、時々面倒な事もあるから、初から、本職の辯護士に頼むが宜しい、然すれば安全だ。

右の方法は資金を投じてやる事であるが、又小作人と成つて儲る方法を話さう。

小作人とは、君等が今日日本で耕作して居ると殆んど同じ方法で、資本は僅かしか入用はないのだ、只大に違ふ處は、小作料の甚だしく安い丈けが違つて居る、凡て耕作する様になつて居つて、水引も非常に便利に出來て居る、只作る計りに成つて居る地所で、四反十六歩（一エーカー）に就て一ヶ年間に僅か五弗位拂へば貸し人は山の如しだ、ど一だ日本では一町歩位の地面に十四五名も關係して、僅かに一町歩位の田地を持つて居れば虎の兒の様に大事にして地租税に二十六圓位も取られ府縣郡町村税を附加せられ、加之土地は亞米利加の如く肥沃でないから、亞米利加の様に肥料なくして出來るものとは同日の論でない、大變な肥料代を費し僅かに卅石に上らぬ、實に馬鹿々々しい、其れから亞米利加の小作人

は一年や二年では止まないよ、大抵十年とか二十年とか契約する、而し其契約年限が切れたら、又改めて契約すると云ふ約束だから、年限内は勿論借料金を滞らなければ、無暗に取上げらるゝ事はない、此れを借ろうとする時は買入際と同じく、地主の家に行つて直接談判するか、又は仲買所に行つて貸しに出て居る多くの地所を見て、而して仲買を経借する、借りる場合に買入場合と同じく公證人の所に行つて公正借料を造るのだ、契約年限内に地主が勝手に借用地を他に賣り飛ばし、借料金を償還した場合には、勿論正當の損害を賠償させる事は出来る。

右の小作の方法で少しく小作料を高く拂へば契約年期の終る時分には、全然自分の者に成り土地所有者と成る法もあるから、其方法を取れば初めから大金を支拂入事なしに極安樂に大農となる事が出来る譯である、ドーダ實に結構ぢやないか、嘗分の内に日本に殖した家族を養ふ位の費用は、僅かな金だから、亞米利加から毎月なり時々送金するさ、而して君が獨立する見込みが付いたら、妻子共亞米利加に呼寄せろのだ、日本で勞働に慣れた妻子を携へ、夫婦共稼ざる様に成れば、其れで君の土地が丈夫に成るばかりでなく、子供数

育上の、便利が大變宜しいよ、其子供は又十四五年の間には立派に學問して米國のマスター・オブ・アーツなど、云ふドエライ肩書を持つて、日本に歸つて來て威張るのだよ。

第二章 職工の渡米問答

ワツチも亞米利加に行きていんでげすがこんなけちな野郎でも役に立つてしようか。左様か、大分氣の早さうな男だな、まわ話して聞かせるから尻を巻くつておるのを下して鉢巻を取れ、君は何職人だ。ワツチャ何をやつても上手な者は一つもありやせんが、やる事は何んでもやり升。エライね、其れぢや行きたけりや行くが宜しい、私が種々の職業に就て話すから、聞いて見て結構と思ふなら行くがよい。

工夫募集廣告

大北鐵道會社に使用する工夫五千人を募集す、日給一弗以上一弗廿五仙迄、仕事の種類に因り差あり、仕事の種類にセグシヨシ、ギヤンク、石炭積、汽罐車掃除、客車掃除等なり。

第三章 職工の渡米問答

職工の募集

右の職工募集は、中三五六十五日必す毎日四つ五つ新聞に掲載して居ない時は、面して此の件には最も日本人労働者を渴望して居る。加之此の報告は、凡て事實で偽はない。吾輩自ら経験した事だ、ドナドナ一月に浮山取れる時は三十二期即ち六十四期で、少なくて一月に二十二期即ち四十四期は儲かる事は確かだ、一年間辛抱すれば少なくとも五百圓の金は貯るよ、君は日本に居つて働いては一年に五十圓も困難だらう、ハ三何時でも雇つて呉れるよ、其の外各地に、何所にもホッスと雇へらるゝ周旋屋がある、世話して呉れるから、貴體が強くて耐忍るべければ、ホッスと雇はるよ。

右の職工募集は、中三五六十五日必す毎日四つ五つ新聞に掲載して居ない時は、面して此の件には最も日本人労働者を渴望して居る。加之此の報告は、凡て事實で偽はない。吾輩自ら経験した事だ、ドナドナ一月に浮山取れる時は三十二期即ち六十四期で、少なくて一月に二十二期即ち四十四期は儲かる事は確かだ、一年間辛抱すれば少なくとも五百圓の金は貯るよ、君は日本に居つて働いては一年に五十圓も困難だらう、ハ三何時でも雇つて呉れるよ、其の外各地に、何所にもホッスと雇へらるゝ周旋屋がある、世話して呉れるから、貴體が強くて耐忍るべければ、ホッスと雇はるよ。

東洋貿易商會鐵道工事部

右の職工募集は、中三五六十五日必す毎日四つ五つ新聞に掲載して居ない時は、面して此の件には最も日本人労働者を渴望して居る。加之此の報告は、凡て事實で偽はない。吾輩自ら経験した事だ、ドナドナ一月に浮山取れる時は三十二期即ち六十四期で、少なくて一月に二十二期即ち四十四期は儲かる事は確かだ、一年間辛抱すれば少なくとも五百圓の金は貯るよ、君は日本に居つて働いては一年に五十圓も困難だらう、ハ三何時でも雇つて呉れるよ、其の外各地に、何所にもホッスと雇へらるゝ周旋屋がある、世話して呉れるから、貴體が強くて耐忍るべければ、ホッスと雇はるよ。

今度は靴職工の事を話さう。
 サンフランシスコ及び彼地の附近にて日本人靴屋の数は、實に入軒ばかりもある、此の仲間は、日本人靴工同盟と謂ふのを組織し、事務所を設け、凡て文明的に商賣して居る、會の基本金でさへ二萬弗もある、此の會に依て靴工同業者は、非常な便利と又親睦とを計つて居る、此の會の内に消費同盟と云ふ者を設けて、凡て原料を仕入れる時は、此の會で仕入れ、各靴店は又此の會より原價同様の値段にて買入様に成つて居る。
 靴屋の仕事は勿論靴造りだが、新調の方は餘り澤山過ぎると謂ふ程でもないが、靴直しは現に西洋人の中にも非常に評判がよい、全體西洋人の癖として、黄色人種の爲す仕事は凡て下手であると考えて居つた結果、直し靴でさへ持つて來なかつたのが一度び日本人の手に掛けて見ると、眞に工合がよいので、一度頼んだ者は、西洋人の直し屋にはやれないと迄の大評判だ、直し賃は、カ、ト積み直しが米金の二十五仙、即ち日本の五十錢、裏皮を張り替たれば、二圓乃至二圓五十錢取れる、君は細君があると、成程其れは尙結構だ、夫婦連れで行けば尙儲かるよ。

今度は髮床の話をしよう。
 理髮床は、桑港一帯にさへ日本人のが九割もある、中には數千弗も貯めて居る人もある、散髮料は一回廿五仙、髷剃り十五仙、洗髮は大抵十仙だ、併し日本人の床屋は勉強して、散髮十五仙、髷剃り十仙で安價の爲めに彼地に居る日本人は皆日本人の床屋へ行くから大繁昌だ、彼地では髮を刈るのと、髷を剃るのとは別物で、髷を剃つた序に髷迄無償で剃つて呉る所はない、華客は日本人のみでなく、中以下の白人も澤山來る、而して大變に評判が宜しい、理由は値段が安いのと、及び日本人の床屋は、資本が少ないから、夫婦共稼ぎだから、亭主は髮を剃り、女房は髷を剃ると云ふので大當りの原因に成つて居る、男の頑固な手で顔を撫廻さるゝのに比べれば、女の柔かな手で叮嚀に柔かな手當りで剃ると大變に心地が宜いとの評判だ、だから君も女房と二人りで行き賜へ、君が勤勉にさへすれば、君の出世は予蒙が保證する。
 其他儲る仕事で將來有望な仕事は山の如しだ、西洋洗濯屋とか、洋服立屋とか、指物師だとか、籠屋、菓子屋、竹細工屋、何でも出來る、言葉か、其れは少しも差支へはな

い、心配するな、勿論始めから辨へて居れば其上なしたが、知らなくても根氣の強い人なら、何でも無い、吾輩の朋友で既に彼地で七年間只一人で洗濯屋をやつて数千弗の金を儲けて居る、一人の支那人が居る、尙ほ今もやつて居るが、今日でも朝晩の應接や金の數でさへ英語ちや言へない男が居る。

モ一いつ職工の事を教へよう。

日本で職工として、浦賀の造船所や、吳の造船所や、其他大きな會社で、練へ上げた腕ならば、米國の職工にも譲らない、扱て腕の在る職工が、彼地に行つて製造場や、大會社に入らんとすれば、亞米利加の職工等は、自分の職業を奪はるを恐れて、非常に會社に向つて反對し、若し日本人を採用すれば、同盟罷工するとして、雇主に迫つた結果は、雇主も其れに對して、日本人を採用する事が出来なかつたが、つい此頃、桑港のユニオン職工場では、日本國の軍艦千歳號を建造するとき同場に働き居る日本人の職工が、實に巧妙に一切白人職工の補助をも受けずして美事に仕上げたのを見て非常に驚き、日本人にも如斯な腕前があるかと評判されて居るのだから腕のある造船職工、鍛冶、大工等に都驗ある人は今後は何時でも雇ふ事に成つた、腕のある者は一日七圓位の給料取りつゝあるよ。腕にへのない人でも一日三圓以上は得らるゝよ。旦那能く解りました、此から歸つて早速相談して見ましよう。

第四章 商人の渡米問答

手前も彼の地に参り度いので御座い升が如何な者で御座いまいしょうか。君は商人ですか。そら儲りますよ、大に行き賜へ。ドンナ商買したら儲かりましようか。左様昔輩も彼地で商買した事はないから、よくは知らないが然し直接に見た事だけと話しするとしよう。君は米國に行けば先づ短かくも二年長くて三ヶ年位働くのだ、勿論スケールボーイや給事では駄目だ。一寸待つて下さい、私は澤山ではないが少々の資本は有つて行くのです、其れに私は横濱で西洋人の店にも居りましたから言葉も少しは分り升。ソナ事はどうでもよい、君が僅少の資本や、少し位の言葉が辨かつたとして、それでは駄目だ、マ、よく聞き賜へ、君が二年か三年の間日本人で彼の地に店を有つて居る人の處か、人は西洋人の店に

働くのさ、勿論初の間は、番頭や、帳付や、華客取りの様な位地には採用しない、又採用した處で間に合はぬから、初めの間は店の掃除番か、送り荷物が着荷片附位の仕事を、其れから段々種々な事が解つて來、言葉も上手になり、御世辭も甘く成つて來ると、今度は君の忠實なる心振や働き工合に由ては番頭にでも賣子にでもなれる、而して彼の地の仕事の模様を段々覺へる、其處で君が最早此れなら大丈夫だと確信が出來れば、何にでも商買を初めるのだ、然し給料は安いから澤山は残らぬが君の注意次第で少からぬ、金儲も出來るから奮發すべしだ。

仕事の種類は、先づ桑港に在る現に日本人が營んで居る種類から擧げて見れば旅人宿が十軒、下宿屋が十軒、桂庵が五軒、料理屋が五軒(日本食)外に西洋料理が入軒、理髮店十軒、湯屋二軒、運送店三軒、洋服店六軒、靴屋が二十七軒、洗濯屋が三軒、此の外に書籍屋、美術品販賣店、絹物商店、竹細工屋、雜貨商等の數は二十二三軒もある。

太平洋沿岸に概稱されて居る方面に住居せる日本人の總數は殆んど四萬人も在る、而して到る處、日本人の店のない處はない、此等の人は大抵日本から行くときは無一物で渡つ

た人等だが、彼地で酷烈苦の結果今では數十萬少なくと數千弗の財産家に成つて居る、何故に日本人が彼地に左て割合に多く成功するかと云へば、第一に米國に於ける白人の商人と我國人とは生活の度に大過に相違がある、例へば白人の店は渡大の家賃を拂ふ外に勤定番、賣子雇人に至る迄、妙齡の婦女子又は壯年の男子を置き一週間に六弗乃至十數弗の高給を拂ひ、加之、人の雜踏しない閑靜な處に住宅を構へ妻子と共に團樂の樂を取り手代小僧の種類まで各自一家族を有して居るから、少し大な店であれば十數人を養ふ譯だから非常な費用を要する事になる、之れに反して日本人は幼少の頃から白人の目から見れば殆んど人間でないと思はるゝ程の生活をして、之れに馴れて居るから、店の外に住宅や別荘を構へる必要もなく又音楽室や舞踏室を設ける必要もない、妻は下女の代用をし、子息は賣子の代りをし、娘は帳面付けをする其外は僅かに月給の安い白人の小僧でも置くと云ふ工合だから、至て經濟向だ、隨て其費用は實に僅かな者だ、費用が僅かな丈け、其れだけ商品を安價に賣る事が出来る、彼の地の事情に通じて、刻苦勉強さへすれば、同等の店で同等の資本で、白人と同時に始むれば、必ず勝を得る勘定だ、若し運悪く失敗閉店する様

な事があれば、又々自分は店の番頭にでもなり、妻は料理人と變じ又は子守にでも洗濯屋でもなる、子供や娘は其れ相應に仕事は何種でもある、如斯くして二三年間働けば小さな店を出す位の事は屈でもない、現に吾輩の友人で働いては店開き、店を開きては、閉店する事八回で遂に今では紐育の田舎で立派な雜貨商を営んで居る、君ドーダ一つの仕事に八回迄失敗して、矢張り懲りずにやるとは、其人の根氣頗る強いけれど日本などではやる事が出来ないよ。

貸本家、サクラメント、桑港、ローサンヂェル、タコマ、ポートランド、ヴァンクーバー等の西部、又は東部紐育の如き日本人の澤山居る處では、幾多の邦人中自由自在に、英字新聞とか英書を讀む者は極めて少ないから、彼の地に居て矢張り日本の書物を非常に戀しがる、殊に新版の小説などは、英語を能く解する人も大變讀みたがるから、左程の資本を要せず容易く出来る事だ、又日本の様に借讀料が安くないから大に儲かるよ。

飲食店、此の商買は勿論自分に料理法を心得て居らねばならぬと、料理法は熱心にやれば金を儲けながら直に覺へられる、現に桑港には先刻述べた通り西洋料理屋は八軒もある、

其れからローサンヂェルスに行つて見れば、同市に於ける中以下の料理屋は既に日本人に依て全權を握られて居る、加之白人の料理業者は日本人に敵し難き者と斷定を下して居る、或る人の如きは僅か三年間に二萬弗以上の金を儲けた、勿論初めの程は僅かな資本であつた事は吾輩よく知つて居る。

洗濯屋、元來近頃迄は中以下の洗濯屋は殆んど支那人の獨占事業であつたが、此頃に成つては日本人中に段々殖へて來て今では其數も少なくない、殊に桑港や紐育には澤山出來た、日本人の洗濯屋が殖へると共に支那人の洗濯屋が減少する、今迄は支那人の華客であつたのが日本人に頼む事になる、これは支那人は不潔であるとの感情があるにも係らず、支那人は洗濯料の安價なので、此れまで頼んで居たのだから、日本人には實に都合がよい譯だ、而して此商買は簡易で有望で資金を要せぬから都合が宜しい。次にもう一つ雜貨商の事を話そう。

桑港に、數十の店があるが元來太平洋沿岸に沿たる店は、小さいので日本人を相手にするのと、西洋人を相手にするのと二種類ある、太平洋沿岸には日本人相手が多い商品は米、

味肉、醤油、酒類、其他の雜貨である。
 大西洋岸即ち紐育の日本商店は皆西洋人相手で、大體資本も多くて、且つ大仕掛である。
 商品は陶器、漆器、絹類、美術品の如き磁器、番傘、扇子、屏風、家具、玩具品、ブツ
 ツシユ、アンチモニー細工、籠甲細工、籠細工、吊提燈、垂簾等である。
 商店の重なる者は、高田商會―三井物産會社―森村組―茶業組合―滿越商會―森村新井商
 社―赤尾北越商會―日米商工協會―大島實業店―大倉組等である。
 右等の店は凡て大仕掛で雇人も内外人があつて此等の品を販賣するには華客に對して
 一々委しく説明するの必要があるので、其れに就て日本人は語學熟達した者が少いし、且
 つ御世辭が下手であるから、大抵西洋人を雇つて居る、其利益の割合を見るに卸賣と小賣
 との差は非常だ、小賣は卸に比ぶれば倍價又は七八割の利益を加へて賣る、其理由は手間賃
 と問屋の口錢とをまけに凡て五割位の關稅とを加へるのだから、米國で二番の商品は日本
 の輸出港で一價位の物だ。
 吾輩は市俄古に行つた時(千八百九十五年の春)在米日本人中第一等の小賣商人と稱せら

る、人の店に行つて主人に逢つて少しく經歷談を聞いた、今其二三を話さう、此人は日本
 から來たのは十六年前であつた、未だ當時は無一物で、其頃日本から來た興業師の料理番
 として雇はれ、其後大に節儉して金を貯め、其れを資本に日本の雜貨店を開業した、處が
 其頃は未だ日本人の雜貨商店が其地に無いので、非常に賣れ行きよく、日本の品でさへあ
 れば何んでも角でも賣れると云ふ有様で、時には華客一時に押掛け來り、日本から來た荷
 物を箱から取出すを待つて居て、店頭に並列せぬ前に買ひ取つて呉れたと云ふ、凡て僅か
 に二年を経ざる内に巨萬の富を爲したとの事だ、吾輩の訪問した當時は支店を十軒も有つ
 て居たが、理由あつて先達閉店した。

其頃ならば如何なる品でも珍らしくて、善く賣れたが、今日は既に左様甘くは行かない、
 珍奇とも玩弄的にして實用に適しない品は、當低駄目だ、日用必要な實際の者でなければ
 賣れぬ、美術品の如きは未だに大變に好評を博して居る、勿論美術品一方では駄目だ、日本
 人は工業品と美術品と混同するから、宜しくない、其れだから、日用品でも玩具の様な品
 物を作へるのだ、裝飾品は勿論彼の地の風俗と習慣とをよく見別けて造た物でなければな

らぬ、家屋の装飾でも日本の考へで、少しは彼の地の事を知らねばならぬ、例へば日本の陶器が賣れると人に聞いて、日本で使用する茶碗茶皿も附かない物を持つて行つたとして、誰れも買はない、或は絹布にしても何程日本の織物が上等だとして、漢様が悪かつたり、柄が彼の地の風と合はぬば賣れない、凡の物がソーダ、其れから價格の安いのみでは賣れる譯の者でない、日本の品物が粗製に流れるが爲め、聲價を下落せしむる事は誰れでもよく知つて居る事だ、米國人は必しも安價な下等な品を好むのでない、高價であつても、新奇で美術的に出来實用向の品をば要求する、左様な事は日本に居てもよく解るぢやないか、それを知らながら粗末な品を賣るから愚の極だ、商賣して金儲る事は勞働して金を貯める様に容易くは参らぬよ。

第五章 漁業家の渡米問答

米國では魚が澤山取れますか。左様澤山取れる。私共が釣りに行つても釣れませうか。釣るのはソーダが知らん、亞米利加では竿一本で釣る様な面倒な事は無い、皆網で漁る、北

米英領晚香坡や、ヴィクトリヤ市等には、日本人の漁師が五千人も居る、而して日本人の漁夫は非常に歓迎される、日本人は漁獵に就いては非常に上手だそうだ。日本人全體の氣質から考へて見ると、短氣で永遠の耐忍力に缺乏して居る事は事實だ、だから戦争で謂へば突貫した時に最も利益を得る、鮭漁の如きは殆んど北海道の鯨捕りの様な仕事で、一呼吸にやつける仕事は最も適當だと思ふ、此の鮭漁は三月と七月の二度宛漁れるので、漁期は僅かに四十日計りであるが、僅か此短期の間に、勿論年にも依れど百弗乃至四百弗も儲かる時があるから、一度此地に漁した者は、漁獵の壯快なものと、利益の多いので、其等の味を忘れられない。毎年六月の初旬頃より、遠方より態々漁地へ來る者が澤山ある、今其有様を詳細に話そう、若し彼の地にて漁業に従事し、所謂漁獵權を得んとする者は、英國に歸化して、漁期間税金を十弗政府に納め、三月より十一月迄漁業する様に成つて居る、(勿論雇はれる者は歸化する必要はない) 鮭漁に數種ある、三月より漁る者を春鮭と言ふ、七月一日より八月廿五日迄漁するのをサカイと唱へる、此魚肉は赤色を帯びて甚だ味い、此れは罐詰にするので、現に日本などにも澤山輸入されて居る、世界至

る處非常に好評を博し、其需用は實に夥しいので、漁會社も漁夫も此サカイを當にし
て、漁獲の盛んな時は、晝夜の區別もなく、實に激烈な勞働をする、其有様は到底御話
出来ない、此の漁獵に由り、日本人の手に落ちる金額は實に莫大な者だ、其れから此サカイ
の終つた後、九月から十月の間は漁る者は「ホ」と稱へる鮭である、此「ホ」は極少
いので、澤山は取れない、別に「ソック」と稱する鮭もある、白人は嗜まぬけれども、日本人は
之れを賞美する、此鮭は日本南部近海に棲む種類によく似て居る、鼻が曲つて肉は白く其味
は美味である、此鮭業は同胞の専有物となり毎年々々鹽漬にして日本へ輸出する、毎年其
輸出高は長足の増加を示して居る、此鮭は今より八年前に試みに日本へ輸出したるに、意
外の儲けをして以來今日迄繼續して儲けつゝある、鮭業するには網代に大金を拂はねばな
らぬ、此ソック鮭の漁獲はサカイ漁期間に網代金の收支濟となつて、來年の漁期には到底
使用するに適しない、所謂古網同様の者であるから別に入費を要せぬ、大體結構な金儲け
である、漁業の外に、ワシントン州府近からアラスカ等の鐘詰業に働く人も澤山ある、七
八九月の漁獲期は不漁と大漁とに係はらず、又遠近は係はらず、船賃及食料は會社から

第六章 船乗の渡米問答

支拂ふのみでなく前金をも貸與して呉れる、勿論漁夫や鐘詰職工等には、英語などは、一
語も入らぬから都合が宜しい、冬期間になつて漁業の仕事が無くなつた頃には、伐木事業
あり、鐵道會社に雇はれんとすれば、何程でもある、此等は皆一弗五十仙位宛は取れるか
ら、立つも轉んでも損はない、而して此等の地方には立派な病院があるから、金がなくな
り入院が出来て、日本で養生するよりも却つて結構だ。

私は米國に行つて船に乗り度いのですが如何でしょう。左様結構だ。然し私は亞米利加に
行く旅費もなく旅券も中々下げて呉れませんが如何したら宜しいでしょうか、私は行きたく
くてたまらないんです。左様かそれは氣毒だな、然し君は船乗りが本職なら金がなくとも
も行かれる、先づ第一番香港迄行つて香港の海員寄宿所に這入り込むのだ而して其處で米
國又は英國行きの帆船でも汽船でも乗つて行くのだ。愈々船に乗るときに前借して其れで
返すのは海員の通例だから、勿論香港に行きさえすれば一ヶ月遊んでゐる様な事はない、

必ず一ヶ月経たぬ内にライスタラキの帆船が英國の港にポリーイか水夫の入用があるとの申込み来る。其とき乗つて行くのよ、可成ならばポリーイの仕事が楽である。勿論船の仕事に慣れて居らねばならぬ、而して船に乗つた事のある證明書とも云ふ可きデスマチヤーデがあれば尚更結構だ。

ソウコウして居る内金も溜る海外の様子も知れる改めて旅行券を受ける手續をするのだ、船長の引立てや證明書に依り米國に上陸する事も出来るぞうだ。

米國にて最も収入の澤山ある水夫の仕事は、グイクトリヤ遊より乗込むシルル帆船で水夫、ポリーイ、コック等の仕事は澤山ある、毎年十一月から約束して十二月下旬に出帆し、日本近海ベリング海に獲るのである、給料も割合に高い、コック一ヶ月百圓宛、ポリーイ一ヶ月に四十圓宛、水夫も一ヶ月に四十圓宛で約束は満九ヶ月だが、水夫は月給の外に收獲高の割に依り報酬を受けるから大盤の時は非常な収入がある、而して日本人の水夫は非常に歓迎されて居るから、いくら行ても差支へはない。

次に米國軍艦に乗る事だが、此れは勿論無制限に澤山の人員を要する譯ではないけれども、

米國の軍艦中日本人の乗つて居ない艦は殆んどない又何時行つても、雇つて呉れる、今其概界を語しよう。

米國の軍艦には殆んど各艦四五人乃至十二三人宛の日本人が居る、米艦は何故に日本人を悦んで迎ふると謂へば、割合に正直で、身體が倭少で清潔で、彼等白人の目よりしては先天的にポリーイ然と造られて居るから艦内の仕事は至極容易な者で、何人にでも出来る事だ、殊にどの艦でも日本人が居るから解らぬ事は教へて貰ふが出来、給料は日本から見れば大變高い、最下給のポリーイ廿二圓の月給取りだ、ナニニ言葉は何でもない、其心配には及ばぬ、第一語學の出来る様な人は廿二圓位の月給に満足して軍艦に働く者は少い、初めの中は十中の七八は、イエス、ノー以上の言葉は出来ないのが多いのだ、其れで結構に働いて居るよ、陸の働きに慣れた者は軍艦は規則だとか何とか、面倒な事を言はれるからと嫌ふのであるが、規則書とて日本の軍艦などと比較れば、實に寛大なものだ、吾輩は一年餘居たけれど、規則の爲め苦痛を感じた事はない、陸の家庭の勞働に山の神の御機嫌を取らぬよりは何程結構だか知れないよ、軍艦に乗る積りなら米國に渡つて他の仕事をせずには、

早速乗つたが、利益だよ、彼の地に行って遊ぶ癖が付き生意氣になつてからでは駄目だ、彼地で金貯め一方の人は却て言葉と事情も判らぬ者の方が、場合に依つては却つて調法だ、言葉のよく判る人は金を儲けぬ前に、使ふ方が上達するから、終には墮落する者が多い、金貯めるも學問も渡米後二三年の内だ、此二三年の内金に金を貯めるか、學問を爲るか孰れかに土臺を造らない輩は、必墮落する、軍艦は金を貯めるに、言葉のよく判らぬ者の爲には、至極調法な所だ、此れは亞米利加の軍艦に乗つて居る朋友から來た手紙だ、丁度都合が宜い何か書てあるから讀んで君に聞かせよう。

「……大に爲す事もあらざれば會津男子の耻辱に有之候得共今暫くの間は歸朝仕らず候國を出で、八星霜未だ以て快となすべき事も無之只僅かに父を助けんが爲に金六千圓の金を送りしのみ、得る者は只仆れて後止む亦我に於て遺憾無之候……」

君聞いて居たか、八年と申せば短き月日じやないけれど、六千圓の金を故國に送つたと書いてある、勿論此男は高等學校に居る時から驚くべき耐忍家として有名であつたからではあるが日本で十年働けばとて貯める事は中々六ヶし。

軍艦に乗る手續は、非常に簡易な者だ、日本の様に面倒な手續は入らぬ、先づ働らんかと欲せば桑港なれば海員寄宿所に行つて聞けばよい、紐育ならブローケレンの軍港に自身出掛て行つて、パーメント號と申す古艦が繋いである、(此の艦は昔南北戦争のときにハットリン州の海戦で沈没した)艦に行つて日本人に面會し(此の船に四五人)來意を告げる、然すれば、故國の日本人は悦んで周旋する、而して君は英字記名が出来るかと問はる其とき出来なければ即席に習ふて書く、其れから艦長の處に行つて三年間の契約を爲し、艦内に在る帳面へ君の自筆で記名する、其れで約束は完成したのだ、月給は最下級のボーイで卅二圓だけれど、正直に勤勉に働かざれば、毎月士官から五圓や十圓は必ず貰へるから、大變な者だ、契約年限三ヶ年を終り、又重ねて三ヶ年再勤する者は、二度目の契約と同時に、九十六圓の賞と貰へる、之を最下給のボーイの月給の三倍だ、若し五十圓の月給なれば百五十圓貰へるのだ、何程田舎渡でも三ヶ年間働くと内悪事を働いたり、艦則を犯して罰さへ受けなければ、必ず増給する、艦内にて此罰を受ける人は重に多少語學の出来る所謂書生と云ふ、即ち學問の中絶を受けた連中だ、軍艦内の仕事の種類は食事に關した事のみで、水夫や火

夫には採用しない、身體が少々過ぎ、且つ號令を聞き判るのに困難であるからだ。然しボーイの内にて割合に體軀の大きい英語の出来る者丈は二三名丈は陸戦隊に加へらるゝ事がある、之に加へられた者は、仕事が多くて迷惑だ。

食事に關する仕事を大別して、三種ある、ボーイ、コック、スチユワード等である。

ボーイの仕事は士官の小使兼給仕である、ボーイの中にも、ワインボーイ、パンツリーボーイ、又はスチユレージボーイ、メスルームボーイ、等種々の階級がある、従つて給料を卅二圓が最下等とし五六十圓迄取れる。ボーイは無藝無能でも宜しい、然し後日天下に勇飛する要素を具へる氣概、又は高等學校出身の人等は、ボーイの内に在るのだから、中々腕白な奴が澤山居る、時々士官に反抗して議論し、罰を受ける者が在る、勿論米國の士官は日本の士官の様に、餘り意張らないから、至極働き易い。ボーイ一日の仕事は、朝ラツパと大鼓の音で起される、早速受持士官の靴を磨き、終りて、朝食用のパン焼をしたり、其他種々と朝食用の仕事して士官の食事を待受ける、食事終つて寢室を掃除する、其内に九時になれば船員一同甲板に整列して番號を呼び其れが終れば、又室を掃除をして十時

半頃には仕事を終り、一時間位遊ぶ、而して晝食の食卓用意に掛り、十二時に食事を済し、食堂を片付け、一時頃から午後四時迄は暇で遊び放題だ、四時半から晩食の用意に取掛り七時迄に其日の食事を片付け夜の九時頃迄本を讀む者手紙を書く者歌を聴る者都々逸を歌ふ者、角方を取る者、將基を指す者、種々様々獨逸人、佛蘭人、瑞典人、英國人、黒人、黄色人種、五大洲の人間が残らず仲善く、話をしたり、故郷の話をしたり又未來の空想を語るなど、十時を報ずれば信號喇叭が鳴る、床に入る、先づぎつとこんなものだ。

コック、此れも種類は色々あつて四十圓を最下給として七八十圓得られる、スチユワードの職は、料理人やボーイ等の上位に在る、所謂監督の地位であつて、食事に關する凡ての責任を有つ、給料は最下給にて五十圓から八十圓位迄だが買物にコンミツジョンを得らるるから實は百四五十圓にもなる、コックは料理だけで他には何にも用事は無い、然し此れは勿論料理が出来なければ駄目だ。

スチユワードは料理が出来、語學が多少上手でなければ駄目だ。

七月四日は米國の獨立祭で合衆國中の人々は狂氣の如く悦び祝ふのだ、軍艦内でも種々の

餘興とか、競争が催される、其内でも例の米國の拳骨の試合が最も盛んである、然し日本人のボーイは藝する者も、競争する者もない、此日の餘興の司會者は船僧である、(米國軍艦は一名宛の坊主あり)此坊主が吾輩に何か一藝やれとの勧告であつた、乃公望されて引込む様な弱虫にあらず、然らば日本流の角力を試みようとする、即時に快諾した、處が坊主大悦びで、然らば對手は誰れにするかと問たから、吾輩躊躇せず艦中第一の大な男を出せと答へたか、火夫で高さ六尺と謂へる大兵の男を見出した、此人なら結構と答て握手した、吾輩より身の丈け高さ事六寸だから、我輩負けても見苦しくないと考へた、第七番目が吾輩と火夫との番組だ、甲板に白墨を以て土儀の形を畫き、東西に別れて對手と差向ひに成つた時坊主が木村正之助然となり澄し、東西の名を讀み上げた、其時滿艦拍手は天まで響いた、吾輩ヨイシヨの聲と共に立ち上つた、火夫は即ちカムオンと聲で立つと同時に全身の力を腕と腰に込めて、對手の胸の處を突き飛ばしたけれど倒れなかつた、今度は對手の方から激烈なる勢で吾輩を突いた、吾輩御出なれと體をかわして對手の胸を後から推したから、火夫は足の度を失ひ、蛙の如く甲板に這ふた、此れで先番は吾輩の勝利に爲つた、二

番目に東西兩方共立つて、火夫今度は乃公を捕へて非道な目に逢さんとの計畫で、土儀側に立つて大手を擡げた、又も御出来と計りに、乃公腰を曲め、火夫の兩脚の間に頭を突き込み、後向に立ち上つたるに、腰に少しも力のなき六尺餘り大の男又もや逆様に倒れ磯邊に吸ひ付いた貝の如く這ふた、又もや拍手喝采は確かに一萬噸の巨艦も揺かす勢であつた、此時程愉快な事はなかつた、餘り長くなつたから是で止る。

第七章 婦人の渡米問答

妾も米國の方へ参り度いと思ふのですが婦人でも渡米が出来るものでせうか、兎角政府では婦人の渡航を嚴禁してゐて婦人は殆んど米國などえはやらぬさうですが如何なものでせうか。左様日本の政府では醜業婦一つて醜業婦を非常に怖れて、婦人の渡航は先ア皆な醜業婦になりに行く者と位しか見て居らぬから、大分八ヶ間敷い事を云ふて仲々許可しないが然し出願もして見ぬ内からビク／＼するにも當らない、ドシ／＼願を出して見るがい、順序手續は殆ど男子と變がないが未丁年者及婦人は保證人を要する外に渡航先に確と

した引受人がなくてはならぬ規定であるから出願前に引受人たるべき者の住居する其地の帝國領事の營業證明書若し身分證明書の類を得て之を願書に添へて出さねばならぬ。然し今日この處男でもとうとう婦人では少くとも女學校卒業以上の學力がなければ容易に許可にならぬらしいと云ふのは無教育な婦人はどうしても醜態婦になるとの心配からでしょう。吾輩は一體婦人の渡米に就いては大に議論があるが簡単に一つ述べて見ようか、おとなしく聞て呉れ給い。

初て此の人民が海外に移住して必要なのは家庭である、昔の歴史を見てもギリリスがイタリヤを開いたのは、先づ第一に火を持つて行つた、火——これは家庭を持つて行つたことだが此の家は女あるに因て造らるゝ——女——之は人類に於て必要儘くこからざる者、女が無ければ人は和々といふ事が出来ぬ、實に心理學の上でも、又事實の上にも確たる然である。

日本人が渡米して成功せぬのは何故である乎といふに、日本人が歡迎されぬからでもなく實銀が安い爲めでも無く、唯だ婦人が行つて居らぬ事に原因するのだ、女なくして家庭無く、家庭なくして人間に慰藉安樂無く、之れなくして人は辛抱が出来ぬ永住が出来ぬ、乃ち成功せぬ所以である、日本人の不評判となる基である。

昔し外國から移住した古代羅馬の人民が、サバインの婦人を盗み奪ひに行つた、何の爲めに彼等移住の民は婦人を奪ひに行つたかといへば、決して今日のかどわかしの様に娼妓にする、淫賣婦にする、妾にするると云ふのではなくつて、純粹な妻とし、最も可愛がつて共に楽しい家庭を造つたのであつた、而して此等の家庭は應て羅馬の文明を生み、此等の婦人はシーザーや、ブルータスの様な偉人の遠き母親となつたでは無い乎。

又昔し米國が開かれた時、英國から幾多の青年が移住したが此青年等は間もなく、婦人なきに寂寥を感じ出した、其時である、英國から三艘の船に婦人を乗せて米國に持つて行き、米國産の煙草と交換したことがあつた、記せよ、三艘の船に乘せられたる幾百の婦人の内、煙草と交換されることを厭ふた者は、タッター一人しか無かつたといふことを、之は立派な事實である、歴史の我々に教ゆる所である、而して此等の青年男女の造つた家庭は應て自由の國を生み、今日の富強の基を成し、幾多の偉人傑士を産するに至たでは無い乎。

米國や、英國に基督教の大傳道會社がある、其會社から多くの傳道師を外國へ派遣するが、昔な男女の比例を取つて送り出す、日本のたりへ來てをる外國の傳道師も、矢張り此の男女の数を配分して送られてるのである、女子は、これはどうしても人類に必要な者である、況んや本國を離れ海外萬里の異域に在る者に於て、特に其必要を感せしむるのである、日本の國としては、日本の人民が海外に於て立派な人となり、旨く成功することを希望する、又希望しなければならぬ、政府でも然らざるを得なければならぬ、と、どうしても女の海外に出ずといふことは、日本の國の希望であらねばならぬのである、日本人の今日米國で成功して多少本國へも名の知れてるのは決して獨身者では無い、妻を持ち、家庭を造つてゐる者に限つてゐるのだ。

所が今日政府の心配するのは、婦人を米國へ出せば職業婦になつて、國家の體面を穢しはせぬかといふことに在るらしいが、これは實際を知らぬ皮相の觀で、全く杞憂に過ぎぬ、海外で職業婦をなす日本婦人は、皆んな無學文盲の者計りで、尙くも身に教育あり職業、淫蕩の字義を解し得る女子は決して職業婦にはならぬ、我々の希望は無學の婦人を出して

職業婦にしるとは云はない、相當の——少くとも小學卒業とか、然らずんば高等女學校卒業以上とか——教育ある婦人を米國へ送り出し、そして在米の我同胞幾萬の青年の爲めに満足と與へ希望を充たして、立派なる成功を北米の天地に得せしめよと云ふのである、又、日本人が米國での不品行、不評判も全く婦人の缺乏に原因するのであるから、日本の婦人を澤山移住することを許したならば、此事も無くなるに相違ない。

北米に在る我同胞の爲めに、青年女子を渡米せしめよ、彼等の爲めに家庭を造らしめよ、而して遠く海外に渡つて苦心を背めてゐる有爲の日本人民をして立派なる成功を得せしめよ、之れ實に日本の國の希望であらねばならぬ、政府たる者の希望であらねばならぬ、國民よ、政府よ、日本の青年女子よ、深く此事に就て考究せられんことを希望して止まぬ次第である。オイ、君等はどう思ふかネー。

第八章 出發の準備

急ぐ米國に行くに就いて差當り必要な準備は如何にすれば宜いのですか。先づ第一に渡航

する金が必置だ、第二渡航の必要物は旅行券である、其額は二百五十圓もあれば餘る位だ、明細に示せば左の通りだ。

- 一 金六十六圓也 船中又は船外から船内に持ち込む等渡航費(船運費)も含む
- 一 金百圓也 上陸の際役人に見せる金
- 一 金四十圓也 服装に關する支度
- 一 金五圓也 積荷箱料其他雜費
- 一 金四圓也 船中の小使金

合計金二百十五圓也

右の計算は普通の見積り高であるから、非常に儉約すれば他の物を多少減ずる事が出来るが、上陸見せ金と船賃は減ずる事は出来ない、勿論餘り苦しい思ひを爲さず、萬端用意を完全に整へて渡らんとすれば、三百圓でも何不足を感ずるのである。勿論下等客だから、多少の不自由は免がれない、又食物も亦あまり上等でない、然し決心すれば船中には船中に於て餓死した人は居ないから、十七八日間の間心棒が出来る事は無い。

一金百圓の上陸見せ金とは、米國移民規則に依り合衆國又は布哇へ上陸する者は金五十弗以上携帶せねば上陸させぬと謂ふ規則がある、上陸の際役人に尋ねられたら、イエースと云つて見せるのだ、其爲に持參するのだから人から借りて行つても宜しい、然し會社に依り相違する。

日本郵船は旅客の安全を計り一人毎に米貨五十弗以上を預り着米の上本人に返戻する規定。東洋汽船、太平洋汽船、東西洋汽船、の米國行は各自持參し、婦人に限り九十圓内外を預り、上陸の際米價四十五弗を支拂ふ者とす。布哇行は男女の別なく金八十圓内外を預り上陸の後預り證引替に米貨四十五弗を支拂ふ規定だそうだが、但し英領加奈陀へ上陸する人は當分携帶金が要らないそうだが日本郵船は此限りにあらず。

一金四十圓 服装に關する支度、とは米國に行くには羽織袴では駄目だから、夫れ相等の風體を作らねばならぬ、先づ準備品をザット云へば。布で包だ錠の下る柳行李と靴。洋服の背廣二揃位 (黒又は紺の無) シャツ二枚、ホワイトシャツ二枚、靴一足 (黒皮の編上げて先) 帽子 (罇の廣くない黒又は鼠色の中折がよい) 烏打帽子 (舟の中にあれ) 夏の帽子は (麥藁の山高は罇の廣くない)

人の用品では)カラ三ツ、カフス一組、襟飾二ツ、毛布一枚(下等室に夜具なければ赤)石鹼、齒磨、楊枝、櫛、鏡、草履、(板裏が宜い)洗面盤、七、箸、茶碗、茶、カミソリ(なるべくは西洋のみ)日本)及砥、針、日本衣裳二三枚、小説、糸、鉄、小刀、紙、筆、會話書、西洋料理者、靴はけ、靴墨等其他種々の品物は各自見計ひで宜しい。

右の外に食物だ、此れは船中にて粗食に困難を感じる人は罐詰(牛肉や魚)や、ビスケットは航海中最も必要だ、序に藥品も一通りは必要で、寶丹、清心丹、神丹、目藥、風邪藥の様な藥各自の見込で、持参すれば宜かるう、船中に醫士はあれど船に弱い人は胃の藥とか船に酔はぬ藥など携ふるがよい。

一金五圓 横濱宿泊料其他雜費とは、汽船出帆三日前より横濱に滞在の費用である、勿論東京の下宿から親戚に行きても差支はないが、宿屋に行けば、検査、荷物の消毒の案内やら、渡航調所の勝手や、米價と交換切符買入等、萬事萬端華客の爲めに周旋の勞を取らるゝから、少し許りの儉約をせずして信用ある汽船問屋旅館に一任するは尤も必要だ。

一金四圓 船中の小使銀、とは航者中ボーイの心付けや、粗食をやるときれぬ時、ボーイに頼んで何か買つたりする金さ、勿論使はなければ一厘も用らぬ。

旅行券下付手續

▲外國旅券規則(三十三年六月外務省令第二號)

第一條 外國へ旅行する者に下付する旅券は外務大臣之を發行し外國に於ては公使及び領事をして之を發行せしむ

第二條 旅券の下附を請ふものは書面に左の事項を記載し戶籍謄本若しくは其氏名本籍地及び身分を證明すべき文書を添附し内國に於ては本籍地若しくは所在地の地方上級行政廳外國に於ては公使館若しくは領事館に出願すべし但し外國に於ては公使若しくは領事の認定に依り戶籍謄本又は其他文書の添付を省略せしむることを得

- 一 氏名 (片假字を以て傍訓を附すべし)
- 二 本籍地 (本籍地と所在地と異なること) (所在地を併記すべし)
- 三 身分 (月主家族の別) (家族なるときは月主の氏名及び月主との關係を記載すべし)
- 四 族稱
- 五 年齢
- 六 職業
- 七 旅行地名

八 旅行の目的

長崎縣下對馬國に本籍地若し所在地を有する者に限り對馬島嶼に出發することを得
難海に於ける旅券の下附は難海總督の定むる所に依る

第三條 官命に依り旅行する者は内國に於ては其所管官廳を經由して外務省に外國に於ては公使館若し領事館に旅券
の下附を申請することを得但し前條第一號第七號及第八號の事項を申請すべし家族者は従者を同行するときは同行者
に係る前條第一號乃至第五號の事項を併せ申請すべし

官命に依り外國に在る者其所在地に家族者は従者を呼寄せんとするときは旅券下附の申請に關して前項の規定を準用
することを得

第四條 戸主と同行する家族、夫と同行する妻又は父若し母と同行する子にして旅券の下附を附ふときは其氏名身分
及び年齢を戸主、夫又は父母の旅券に併記することを得但し夫と同行する妻を除くの外十二歳未満の者たる場合に限
る

第五條 移民保護法の規定に依り移民取扱人に依る移民又は保證人を要する移民にして第二條の申請を爲すときは移
民取扱人又は保證人の連署を要す

第六條 本令第二條に依り内國に於て旅券の下附を申請する者は之を領收するときは一枚に付手数料として収入印紙五
十銭を旅券領收書に貼用すべし外國に於て公使の徵收する旅券下附手数料は領事の徵收する旅券下附手数料に依る

第七條 旅券を領收したるときは既に其券面に署名すべし旅券面に背觀あることを必要とする國に旅行する者は其の
定むる所に依り査閲を受けべし

第八條 左の各號の一に該當する者は旅券の下附を受くることを得但し第二條に該當する者は清國若し朝鮮に於て
せんとする場合を除くの外此の限にありす

一 豫戒命令中の者

二 清國若し朝鮮に留禁止命令中の者

第九條 旅行中歸國若し歸着したるとき又は本令第二條に依り旅券の下附を申請したる者其の領收の後六箇月以内に
出發せざるときは旅券を返納すべし

旅券の下附を受けたる者死亡したるときは遺族より之を返納すべし

第十條 商業漁業其の他職業の爲め往復する者は歸國若し歸着毎に其の旅券を返納することを要せず但し旅券領收
の日より三年を過ぎて歸國若し歸着したるときは之を返納すべし

第十一條 旅行十年に及び歸國せざるものは旅券を領收したるときより十年以内に公使若し領事の査閲を受けべし其の
後十年に及び毎に亦同じ

第十二條 旅券を領收したる者第八條各號の一に該當するに至りたるるとき又は第二條第一項第一號乃至第三號第七號及
第八號の事項に變更を生じたるときは直に旅券を返納すべし

第十三條 旅券を紛失したるときは直に届出つべし之を発見したるとき亦同じ

第十四條 本令の規定に依り旅券の返納又は其の紛失若し届出を受くべき官廳は内國に於ては地方上級行政廳及
對馬島嶼外國に於ては公使館及領事館とす

第十五條 第二條第一項各號の事項を附帯し若し第八條各號の一に該當する者其事實を申告す其他詐欺の所爲を以て
第八條 出發の手續

旅券の下附を受けたる者は其の旅券を取上げ二十五圓以下の罰金又は二十五日以下の重禁錮に處す之を幫助したる者亦同じ

第十六條 他人の氏名を記載したる旅券を使用し又は之を使用せしめたる者は其の旅券を取上げ二十五圓以下の罰金又は二十五日以下の重禁錮に處す

本令に依り返納すべき旅券を返納せずして使用したるもの亦同じ

附 則

第十七條 本令は明治三十三年七月一日より施行す

明治十一年外務省布達第一號海外旅券規則及明治三十年外務省令第六號は之を廢止す

▲外國旅券下附取扱心得

通般外務省總務長官より地方官に向ひ外國旅券下附心得として左の意味の通牒を發せられたり

外國旅券の下附は旅券規則の定むる所に從ひて公平一律に取扱ふべきは勿論なりと雖ども旅行者の位置職業及び旅行者の目的又は其の赴くべき國柄に依て取扱上寬嚴の差等あるを免れず從來右等の取扱方に關しては當省大臣より屢々訓令せられたりと雖ども多くは時の必要に應じ發せられたるため全體に涉り或は其の趣意の貫徹せざる虞なき能はず依て茲に其取扱方の概要を叙し執務者の參考に供す

一、旅券は本と渡航許可の證にあらずして専ら旅行者の便利のために下附するものなれば遊歴、修學又は商業の目的を以て海外へ旅行するものにして其地位業體又は生活の模様を照し相當と認めたるものに對しては旅券規則の條項に違反せざる限り他に何等の手續を要することなく可成速に之を下附すべし

一、若し右旅行者華族なるときは當内大臣の發したる外國旅券認可證を以て旅券規則第二條第一項の戸籍謄本に換へしめ又外國に支店支社若しは出張所を有する著名の會社社員又は使用員にして出發を要する事情あるものは事後其の會社の代表者より戸籍謄本を提出せしむることとし旅券を下附するも差支なし(明治三十三年八月二十七日付内訓第一項及び第二項に參照)

前項により取附ひ難きものは左の區別に從つて之を取扱ふべし

(甲) 移民保護法に依り移民として旅行するもの

右は移民保護法に依り既に渡航許可を受けたるものは旅券規則の要件を具備する上は他に何等の手續を要せず直に旅券を下附すべし

(乙) 旅行者にして商業遊歴又は修學等の爲めと稱するも其地位業體又は生活の模様を照し相當と認め難きもの

右等の者北米合衆國並に其の他の諸領地英領加奈太、同濠洲及び右等附近の國々へ旅行せんとする場合には嚴密に之を調査したる上旅券を下附すべし其内若し移民保護法の移民に該當すと認めらるるものあらば總て同法に準依せしむべし此等諸國旅行者取締方に就ては當省大臣より時々訓令あるにつき之を參照すべし

一、海韓兩國及び露領西比利亞地方へ旅行せんとするものは前項(乙)の部類に屬するものと雖も當省大臣より特に訓令なき限りは總て其の取扱手續を具備したる上は他に何等の手續を要することなく迅速に旅券を下附すべし(明治三十二年三月二日付、同年四月付及同年十一月十七日付内訓參照)

右等の國々は本邦と密通し商業漁業其の他の關係極めて交錯し居れば渡航者の爲めに移めて便利を計るを要す其歐次往復するものには旅券規則第十條の恒法に據らしむることに注意すべし

▲米國移民制限法要領

米國移民法案は、三月三日を以て兩院協議會を通過し、翌四日大統領の裁可を経て直に發布施行せられたる旨其筋へ電報達したるが同法中本邦に特種の關係ある要點なりと

一、入國税は二弗とす、而して入國税を負擔すべき者は、原案各旅客とありしを、上院に於て各移民と修正したりしが、兩院協議會の結果此修正を否決して原案に復活したり、又上院に於て加奈太免除の除外例を削除したるを兩院協議會に於ては原案に復活し此除外例を設けたり

一、入國を許されざる者 瘋癲、白痴、癩癩病者、公共の扶助を受くる貧困者、將來公共の扶助を要するの虞ある者、乞丐、傳染病者、重罪又は其他の罪、若しくは破廉耻罪の嫌ある不行爲にて、處罰せられたる者、多妻者、無政府論者、其他醜業婦、醜業を目的とする婦女の輸入を勸誘又は企圖するもの、合衆國內へ渡米の原因合衆國內に於て熟練を要すると否とを問はず、凡そ勞働事業若しくは職務に就くの口頭又は特別の明示、又は默示の申出依頼約束若しくは協議に依りたるもの、及合衆國へ入國出願の日より、一年以内に同國內に於て、勞働若しくは業務に就くの申出、依頼又は協議ありたるものとして送還せられたるもの、他人の金錢を以て渡航切符又は渡航費の支拂を受け若しくは他人の扶助に依り渡米する者にして、前記除外の種類に屬せざることを、確然且つ満足に證明すること能はざる者 但し本條は合衆國居住の人が前記除外の種類に屬せざる親戚又は友人を呼寄する事を妨げず、破廉耻に涉らざる純然たる國事犯罪人を除外せず、尙又熟練工手の輸入を妨げず、但同類業者の合衆國內に於て見出し難き場合に限る、又

一、渡航の目的を以て、婦女を合衆國に輸入し、又は輸入を企てたる者は重罪とし、一年以上五年以下の禁錮及び金五十弗以下の罰金に處せらる

一、移民入る者に對しては、
一、實業の目的を以て、婦女を合衆國に輸入し、又は輸入を企てたる者は重罪とし、一年以上五年以下の禁錮及び金五十弗以下の罰金に處せらる

一、移民入る者に對しては、
一、實業の目的を以て、婦女を合衆國に輸入し、又は輸入を企てたる者は重罪とし、一年以上五年以下の禁錮及び金五十弗以下の罰金に處せらる
一、移民入る者に對しては、
一、實業の目的を以て、婦女を合衆國に輸入し、又は輸入を企てたる者は重罪とし、一年以上五年以下の禁錮及び金五十弗以下の罰金に處せらる

一、其他入國の拒否に關する裁決の方法、僱員の任其、合議の組織方法等

以上の要領中今迄と異なる點は上陸携帶金三十弗より五十弗に増したる事と二弗の人頭税が課せらるゝこととなりたるのみなり他は別に異なる所なきものゝ如し

近頃東京府では、旅券下付手續を簡便になし是迄は戸籍の謄本、保證書、旅券下付願等四通を區役所に差出し區役所は種々取調べた未奥印して戸籍の謄本と下付願を本人に戻すそれを、府廳に差出すと云ふ、手續をのを改正して單に戸籍の謄本に旅行券下付願を添て直に府廳に差出す、尤も現今は保證人の財産よりは本人に置きを置く様ですから、保證書はいらんそうですが、本人に財産に乏しいなら保證書付たがよい、地方に依ては此便法に倣ふ所もあるそうだが、出願者は宜しく其官廳に至り掛官に面會して其譯を話し手續を伺た方が最も安全で最も早く下付されると思ひ升よ、亦寄留者は本籍より戸籍の謄本を取寄せ寄留地より下付願を添へ府廳に差出せば宜し。

(書式) 海外旅券下付願

(用紙美濃紙)

一 氏名

(片假名を以て傍訓すべし山田三吉の如し)

- 一 生年月日
 - 一本籍地
 - 一所在地
 - 一身分
 - 一族稱
 - 一職業
 - 一年齡
 - 一旅行地名
 - 一旅行の目的
- (原籍地と同じければ「前項原籍に同じ」と記せば可なり)
- (戸主又は長次男の如し)
- (士族又は平民)
- (學生又は何々)
- (何年何ヶ月)
- (米國行は北米合衆國と認むべし)
- (何々科擧、修業、又は研究又は何商業の爲め)
- (又は何々工業修業の爲めと詳細に記すべし)
- 右に依り外國旅券御下付相成度別紙戸籍の謄本添附此段相願候也
- 年月日
- 地方廳官宛
- 右 何 某 印

保 證 書

(書式)

(八七)

本籍地何々縣何々族稱何職
寄留地何區何々何方寄留

姓名何某

年月日生

右の姓名發學籍野統の爲(又は何々)本年何月より何々年の見込を以て何々何處へ渡航
仕度候に付ては往復又は滞在費用之儀自辨可致は勿論に候得共第一にも疾病其他不時の災
害等に罹り本人支辨相成兼候とも保證人に於て費用一切引受け聊か不都合無之様可致且つ
本人體豫戒命令を受けたること無之候儀而保證人連證此段申上候也

年月日

右 何 宿所 何

保證人何

某

旅券下付の手續は右の外に何にもないが、動すれば、渡米者に對して、旅券を渡さずし

て、彼是言はれることがある、全體海外旅券なる者の性質は決して政府から恩惠的に貰
ふのではなく、憲法上正當に與へられたる人民の權利であるから、自己の權利を實行する
の證明書を受取るのである、政府が之に向つて漫りに妨害を加へる筈はない、政府の外務
大臣は帝國民が海外に旅行せんとする時に旅券を附與して國籍を證明し向ふの國の政府に
旅行者の保險を依頼するの義務があるまでだ。

然し何々の條件を缺た者は米國に入るの資格を有せず、と云ふ規則があるから、其條件を
缺いて居る者は仕方はないが、其れ等の無資格者とは前述移民制限法を見れば判然する其
他に最も多く、最も甚だしく上陸拒絶せらるゝ者は、

- 一、トラホーム症眼病及其他兆候ある者
- 一、徹毒患者、肺病患者
- 一、契約労働者
- 一、醜業婦嫌疑者、醜業に關係を有する者及び、周旋者等である。

渡航者の願書提出より旅券を得る迄の順序を委しく述べて置かせよう。

一、第一に旅後所より戸籍の謄本を取り願書を出して奥印を取る。

二、奥書したる願書を府廳又は縣廳に送出す。

三、現住所が寄附地なら府廳から原籍地へ向て身元調査の照會をする。

四、所轄警察署の刑事課偵査現住所に來りて本人の身元調査を發す。

五、認可、不認可を決定して本人に通知す。

六、認可狀を受取りたるときは認可狀に受取證に五十錢の印紙と實印と持參して府廳から

旅券を受取るのだ。

サツト右の順序であるけれど其間に種々六ヶ敷手續を要する。

警察から旅券出願人の家へ身元調査に來る、其問答は大概左の通りだ。

渡航者本人の現住所が若し寄附地であれば警察から現住所へ來る前に府又は縣廳から其原籍

地の官廳へ渡航の目的や、出金の方法、等照會をする、其他、官廳から所轄警察署

へ命じて訊問するから、父兄又は親戚は、渡航本人の目的等詳細に答へねばならぬ

欠

MISSING

何故に渡米者を制限するかと云ふに、其理由の第一は彼の地に澤山行けば従つて國際問題を引起す様な事が出来る、第二は澤山行けば浮浪の従が殖へて國體を穢す恐れがあるとの心配からだ、吾輩此の事に就いては、大に意見があるが何にも政府の方針を諸君に向つて議論するに當らぬから、何にも言はぬ。

第九章 出帆乗込の注意

渡航者は出帆前日或は前々日の九時前迄に荷物持参の上平沼の消毒所へ宿屋の手代に案内されて行く、身體は一人づゝ外國醫士が立合で目の検査を受けるのである、トラホームの兆候ある者は不合格となり乗船が出来ぬ、合格者は荷物を宿屋の手代に任せ歸るのである、消毒済の上は荷物の數に應じて消毒済書を渡して呉れるから之を荷物に貼り付るのだ、荷物は宿屋の手代が届けて呉れる、消毒済證なる黄紙は大切な者で之を貼り付てない荷物は未だ消毒が済まぬ者と認定られ上陸のとき再度消毒せらるゝ事があるから、若し荷物の數より不足の場合は二個を一個に纏めて荷造りするなど注意が肝要だ。

尙注意して置くが検査のときに目の爲に不合格となる候損な不愉快な、なまけな物がある候、積込入出船前に経験ある眼科醫士に診察を乞ひ此候れば全快迄延し全快の上準備するが宜しいが、然し無經驗な醫師の治療の爲め反て不合格となる不幸な人も澤山あるから醫士を撰ぶが肝要だ、荷物清書の場所へは貴重物品は宿屋に預けて持参せぬが宜しい身檢検査の前日流船會社に行き切符買入の手續をなす、社員が種々な事を聞く。

一 年輪。二 最後の住所(旅券通り)。三 職業。四 妻の有無。五 合衆國の上陸港。六 行先港に滞在地。七 渡航の目的。八 勞働に付米人と契約あるや。九 合衆國に親戚の有無。十 以前航海せし事あるや。十一 船賃は自費か如何。十二 五十弗以上の準備金あるや。十三 普通の積書が出来ますか。其他種々の事を尋ねるが臨機應變の答をするが宜しい、然し此時の回答は上陸に大關係があるから間違た事を申立ては宜しくない。

出帆當日となる、朝七時迄に再び平溜の消毒所に行く、十人位が一组となり湯に入る、衣服を消毒し終て宿屋に歸り仕度萬端整へて、水上警察に行く、旅券に書いて在る年輪、職業、目的、其他に付て訊問されたら、要領可成り問に應じて言上に及ぶのだ、然し此時に間違た事を云へば船に乗れない事があるから注意するが宜しい。(乗込の案内其他解船の準備荷物として呉る) 愈々船に乗る、一同甲板に一行にさせ、米國領事館醫士が出張して検査を爲す、終つて健康證を渡さる(宿屋の男衆が君等の場) まあ安心だ、大助だ、嬉しいと思ふて居ると、甲板へ上れと云はれる、切符と人員の檢べだ、其れで愈々船が抜錨して汽笛が鳴る船が動き始める、あゝヨカッタ、と一安心だと思ふて居る内に凡そ二三丁程船が進行し始めた時に、又停船する、何事かと思ふて居ると又もや、上れとやつて呉る、而して密航者を見出す爲めに船中残らず探すのである、かくする事凡そ一時間にして船は再度進行を始めるモ一これ限りだ、而して出帆の翌日より、毎日午前九時より船醫の健康診断を受ける少しでも病氣が有ると思ふたら遠慮なしに醫士に其旨を告げ薬を呑むが宜しい、船中の心得だがなるべく身装をよくするのさ、併し決して高價な品を着よではない、郷に入ては郷に従ふの例の如く外國に行くには外國の風俗に従ふは當然の事だから、例へ古手の洋服たりとも垢じみてなくば宜しい、詰り西洋人が見て「奇妙な人」だと笑はれぬ様にせねばならぬ、此頃までの布哇移民の船に乗る状態は、身に日本服を着、裾をからげ足には麻裏草

間違た事を云へば船に乗れない事があるから注意するが宜しい。(乗込の案内其他解船の準備荷物として呉る) 愈々船に乗る、一同甲板に一行にさせ、米國領事館醫士が出張して検査を爲す、終つて健康證を渡さる(宿屋の男衆が君等の場) まあ安心だ、大助だ、嬉しいと思ふて居ると、甲板へ上れと云はれる、切符と人員の檢べだ、其れで愈々船が抜錨して汽笛が鳴る船が動き始める、あゝヨカッタ、と一安心だと思ふて居る内に凡そ二三丁程船が進行し始めた時に、又停船する、何事かと思ふて居ると又もや、上れとやつて呉る、而して密航者を見出す爲めに船中残らず探すのである、かくする事凡そ一時間にして船は再度進行を始めるモ一これ限りだ、而して出帆の翌日より、毎日午前九時より船醫の健康診断を受ける少しでも病氣が有ると思ふたら遠慮なしに醫士に其旨を告げ薬を呑むが宜しい、船中の心得だがなるべく身装をよくするのさ、併し決して高價な品を着よではない、郷に入ては郷に従ふの例の如く外國に行くには外國の風俗に従ふは當然の事だから、例へ古手の洋服たりとも垢じみてなくば宜しい、詰り西洋人が見て「奇妙な人」だと笑はれぬ様にせねばならぬ、此頃までの布哇移民の船に乗る状態は、身に日本服を着、裾をからげ足には麻裏草

履を履き手拭で頬拭りなし、市場より家に歸る様な有様だから、外國船中で水夫の爲めに土足に掛られ輕蔑される事もあるが、必しも無理でないが、實に慨歎の至りだ、然し各自少し注意さへすれば、決して水夫の土足に掛る事も無し、又輕蔑も受ける様な事がないから、身装は最も注意せねばならぬ、航海中非常に暑さを感じる事があるが、裸躰となつたり、褌もせずに亂雑な風をなし、ビヨコ〜、平氣で甲板を走り廻りなどして、外國人に見られたら甚だ御國の外聞に係はる次第だから、少しは窮乏でも忍ばねばならぬ、常に西洋人の起居動作に目を注ぎ、西洋人の風習を見做ひ、同時に起居動作に規律を能くし、毎日少なくとも會話の十位は暗誦するなど必要だ。

航海中青年の多くは意氣當るべからず、太平洋の水を一番と云ふ劍幕だ、然し此連中の大抵は、大學卒業の肩書を以て歸朝の上は、勇飛する筈のが勇飛し損つて失望する者も少なからぬ。

第十章 上陸の心得

十六七日を経て亞米利加に着く、其れから移民官の問答だが其前に注意して置くが、顔も剃り髪と撫で付け、洋服は勿論靴まで萬事注意して居らねばならぬ。

船が桑港、金門に入ると、マストに黄旗を掲げて検査官を招く、直ちに來り、荷物消費済か否やを檢し、下等船客は一列になし、一人づゝ首の廻り、腋の下、股の側、等を檢し終つて目の検査だ、が是れも一人づゝ船醫立合で「トラホーム」の有無を檢べるのだ、若し患者あれば側へ廻し蓋を其船が出帆まで凡一週間あるが其間に再三検査し愈々の患者は止むまゝ其舟で歸されるのだ、検査は済む移民官は今か今かと待てど來らず、やがて移民官は來り問答が始まるのだ、問答は時に依つて嚴密にやる時があるが移民規則に觸れさせねば、宜しいのだから驚く事はない、訊問のケ條は乗船切符を買ふときと同様だ姓名、年齢、最後の住所、職業、妻の有無、落付地、渡航の目的、勞働に付在米人と契約あるや、合衆國に親戚友人あるや、以前渡航せし事あるや否や、船賃は自辨なるや否や、携帶金は何程なるか、携帶金消費後は如何にするや、普通の證書を出来るや等であるから間に應じて答へるのだが、上陸し得る資格は自費で切符を求め尙五十弗以上の所持金を上陸の際有

する事なり。

或る人は此検査を、大層六かし者であるかの様に云ふが、其れは嘘だ、身分正しい者は少しも恐るゝ事はない、日本語が能く出来る移民官か通辯か居るから、日本語で丁寧に明瞭に答へれば、其人の身分も能く判るから無理は決して言はないが、「私は米國の何某が世話して呉れる」など申せば労働契約者として拒絶さるゝから注意し給い。

移民官の訊問済次第旅券と引替に小さな紙切を貰ひ受け手荷物丈け持ち其切を掛官に渡し、小蒸氣に乗る税關に着けば荷物は税關吏に運ばれる、税關吏は厳密に荷物を檢へ、若し絹ハンケチ半ダース位でもあれば加税し其他商賣に類似した者はドシ、税金を取らるゝ、無ければ僅かに五分位で済む。

荷物の検査済むと同時に人頭税と云ふ税金を徵集する役人が来る二弗の金を請求する、君が二十歳以上で六ヶ月以上カリホルニヤ州に滞在する目的なれば納税の義務があるから早速拂ふべしだ、而して拂ふと同時に受取證を受取り其受取證は常に携帯せねば、道路通行の際收税吏に逢た度毎に取りられるから注意し給へ。

上陸した後に何處へ行くたるか、言葉も分らぬ者が如何したり宜しいだらうとの心配に其心配は無用だ、彼の地に着くや否や日本人の旅館の番頭共が早速まかり出で投宿を勧めるから先づ案内に付のだ（旅館は大抵一日六十五仙位）翌日税關に至り大荷物の検査を受けるのだ、荷物は運送屋が市内何れへも届けて呉れるから頼むのだ（一人一分四仙）それから軍同志願者は必ず耶穌教會に行くが宜い、教會堂には必ず割合に正直な、割合に學者が多いから、割合に墮落する事が少ない、又労働者にしても教會の人等は紳士を以て自任して居る人等だから、誠に親類に種々と教へて呉れるから、悪い所に誘はれる氣遣はなし無益な金を使はせらるゝ事もないから教會に行き明へ。

愈々目的の地に落付た、此れから右の耐忍次第、勉強次第で大商業家にも學者にでも大匠にでもなされる、愉快の時は君等の年頃だ、吾輩もモ一度君等の歳になり度いよ、然し吾輩とて未だ極楽浄土御参りも早いから大仕事の一ツ位はやる積り、若し我輩の事業が、成功したとらば、君も亞米利加から歸郷して呉れ給へ、流石亞米利加の教育受けた人は位は歸郷して呉れ給へ。

第十章 北米人の氣質

今度は北米人の氣質が知りたいつて、左様之は渡米後迄も最も大切な事だから一と通り話して置くから能く聴き玉へ。

諸君の知つて居る通り北米の人民は大抵外國から移住して來た者なので、現にチカゴ市なんか百中九十五人迄は外國人又は外國人の子供、紐育市も百中八十五人迄は外國人だと云ふ位で、先ア純粹な北米人の尠ないことが分るだらふが、北米人の氣質とは其極く少數者の氣質を説くのが、そんならサ程必要が無い譯、否々北米人の氣質とは其少數の人の氣質を語るのでは無いのだ。

北米合衆國の人民は種々の外國人が移住して成り立つて居るにも拘はらず、今や全く獨特の氣質、殊有の氣風を存じて、非常な勢を以て侵入し來る外國人は、一度此の自由郷に呼吸すると何時とはなしに其の氣質に感化されて終ふ。此の一種の云ふ可からざる氣風に此の自由郷の人々の間に存在する或る偉大なる氣質、之れ即ち所謂「北米人の氣質」なので、以下各方面から之を觀察研究して見ようと思ふのだ。

或人は「北米は交際の國なり、其國民は交際の國民なり」と云つたさうだが、實に能く穿つた言葉で、全く其の通りといふても宜敷い。一體交際といふ事は文明國の花で、之に依つて良友知己を得る、ツマリ交際の美果を結んだといふもの、分けても眞に心からの良友知己を得ようと思つたら北米人に求むべしだと思ふ。アリストートルは「人間は社交的動物也」と評したが旨い事を云つて居るね、交際は實に文明人の生命で、文明人は之に依つて活きた生涯を愉快の裡に送ることが出来る、交際の無い生涯は乾燥無趣味なもの、死んだ生涯といふても不可なしである、北米人は特に此の交際好きな性質であるから、此の人民の間に交つて自ら交際を求めぬ者は愚の極、据膳の箸を取らぬ様な者といはねばならぬ。而して此交際をやつて圓滑自在巧みに功を成さうとするには、是非とも其人の氣質を知つて置かねばならぬ。人各々氣質あり、氣風あり嗜好の赴く所、趣味の異なる所、之を一と通り承知して居らねば、到底圓滑に交際を全うするとは覺束ない。茲に至つて北米人の氣質を知るには最も缺く可からざるものであらねばならぬ。然し以下記す數ヶ條は元より彼等

の種族大體を述べたに過ぎぬのだから、諸君は之に依つて其一般を明つて置き、其の正確な點は親しく彼等に交つてから研究しよへ。

北米人獨特の氣質 前云ふ通り種々雑多な移民が一度北米に入ると、自ら一種の氣質に陶冶され、漸く統一されて特殊の氣風に感化される、原因は、何んにあるかといふと、北米人が有する立派なる特別の社會組織に基く。立派な特別の社會組織とは何かといふと、即ち「自由の社會」である。北米人は一般に誠實を尚び、率直を喜び、フランス・メソスを愛する故に北米人は比較的表裏なまらぬ人民である、進取の氣象に富んだ人民である、活潑な機敏な愉快な、派手な人民である、而して斯る氣質を形作りせる基をなしたるは「自由の社會」即ち人民に自由を許し、人民の良心に訴へ其信用に依つて社會萬般の事を處理するからなるのだ。要するに凡ての北米人の氣質を成すものは「自由の社會」に在るといふことを念頭に記して置かねばならぬ。

北米人の家庭は伸々神聖なるもので、北米文明の基礎は其家庭に在りといふも過言でない。北米人が何故に其る家庭を形作ることを得るかと言ふと、彼等が

家庭なるものを非常に尊敬する、家庭は日本の様に遺傳に依つて成立つたものでなく自分等が全く創造したものだとの念が堅いから深く家庭を愛し之を尊敬するからである。

北米人の家庭を組織するは結婚に始まるとは勿論だが、其家庭は全然各自の組織するもので決して譲り受けたものでない。彼等は幼少より父母の家庭に在つて其熏陶を蒙り其感化を受けるが、之は唯だ教育や風俗習慣とに止まつて、其自ら家庭を組織するに至つては全く夫婦を以て始まり、夫婦の生活其者が新らしい家庭となるといふてもよい。それ故に北米人の家庭には二種の分子を含む、即ち夫婦は各自別々に家庭教育を有し、茲に始めて一致して和氣霽々の内に平和な楽しい家庭を組織することであるから其新家庭は二種の教育風習より成り立つのである。

彼等の夫婦の殆んど凡ては、多年の交際を結び永らく親密に往來して能く互ひの氣心性質趣味、嗜好を知り合つてから始めて夫婦に成つた者であるから、其氣質の調和し夫婦の間は相和合し圓熟して居るは勿論で、彼等は此楽しい琴瑟の和合を以て家庭を成して行くのであるから、種々の經驗に遭ひつゝ、中には失敗に終る者もないでは無いが、皆な何れも

我邦人なんかの夢想にだも出来ぬ愉快な意味ある生活をして、高尚な美事な快活な家庭を得られるのである一言を以て北米人の家庭に於ける氣質を盡せば、尊敬の二字、を以てする事が出来るならん、夫が妻に對し、又妻が夫に對するも、一言一行能く尊敬の念慮を含めぬ者は無い様な有様である。固より敢て云ふ迄もなく、彼等が家庭を成す基礎ともいふべきは尊敬の念ではなくて真正の愛情なので、彼等に在つては夫婦共者が愛情なりである此愛情が家庭に於ける全能の神であり、主宰者であるが吾輩の目から見ても適切に評すれば家庭に顯はるゝ氣質は慥かに尊敬の念に在りと云ふに憚らぬ。

家庭に在りて夫婦相互に、其感情思想に對して尊敬の念を以て接するから萬事開始するので、此の念慮が無かつたならば、如何に愛情が深くつても長く續くものでない、必ず不和を生じ、衝突を來すに極つてゐる。家庭内に於ける主人は妻である、夫は外部の主人である。故に家庭の全權は妻に在り、家事を治め夫をして内顧の憂なからしむるものは妻の責任で、夫が妻に向て家庭を理するに要するものを供給するは夫たる者の第一の義務である、夫婦の間に愛情あり、尊敬あり、能く其兩者の責任と義務とを盡すからして慈に照

想の家庭は組織され成立するのである。

▲妻 北米人の家庭で勢力ある者は妻だといふとは今話したが、此の妻なる者の氣質は何んなものかといふに、妻は家庭に於ける主人公家庭の主であるから、家事に對して全然獨立の見識を有して、夫は一言たりとも隙を容れることは出来ぬので、例へば其子供を養育するに於て、又下女を傭使する事でも、皆な妻が全權を持つてゐるのである。北米の家庭は斯く妻に全家の支配權を與へてゐるから其平和が保てるので、又妻が全權を握つて一家を治めるのは、眞に其夫の爲めに盡すのだといふ心意が須臾も念頭を去らず、之れ實に夫婦の間 調和が整つて行く所以である。

▲夫 夫たる義務は其妻を保護し愛撫し尊敬するに在るので、妻が夫の爲めに盡すと同じく、夫は妻に對して其都てを爲すのである。夫は固より一家の主人たるには相違ないが此れは妻に對して主位に立つといふのみで、一家内に於ては一種の正賓若くは珍客を以て遇されて居る様なものである。云はゞ妻たる者は其兒女(若しあらば)及び婢僕を擧げて夫に仕へるといふも不可なく、此時に於て妻は其家事の凡てに全權を揮ふて指圖し、能

くこの任務を全うするのである。斯う云ふと、餘り形容し過ぎたかの様であるが、事實は事實なのだ。そして夫が妻に對するの亦亦客に接する様な風で、一種の尊敬を表すことを怠らぬ。勿論昔輩は北米人の夫婦間が悉く斯の如しだとは云はれ、中には男女同權の思想を誤解しといふよりは寧ろ濫用して、夫を尻に敷く様なお轉婆や、又は夫にして妻を奴隸の様に虐待する者などが無いが、教育ある多くの夫婦が造る家庭は、必ず上に証明した様な氣費を存して居るのである。

△子供 一口に評すれば規則の中に養育されるものと云ふべしで、其の養育の任は勿論慈母に在るが、子供も亦母の命令に服従することを義務だと思つて居る。北米人は流石に自由を尊ぶ人民丈けあつて、兒女を養育するにも其の獨立心を養成するに努め、未だ襁褓の裡に在る童女にまでも必ず規律で固めて行く方針を執つて、獨立の精神と其慣習とを養成することを心掛け、更に進んで少し物心付き東西を辨する頃になると、もう自分と他人との區別を明にさせることに注意して教育する、各自の居室は元より其玩弄物の様なものに至る迄自他の區別を立て、決して不規律な事をさせない。若くは其責任を重んず

しむる爲めに、能く父母の命に従はしめ、自己の財産所有物に對して尊重の念を深からしむる爲めに、幼少の時から自分の物は自分で始末し保存させる、而して又子供も其風を尙び其俗を喜んで、漸次に北米人獨特の氣質を養成して行く所、誠に能く北米人の子供なる性質を顯はしたものと謂ふべしである。

▲奴婢 は眞に勤務の上の奴婢で、勤務の外に奴婢なしである。此れ實に自由國の特色であつて主人と従者との區別はあるも等しく一人前の人民として個人の權利に至つては同等なる者、故に仕事に就ては奴婢として使役されるが、其個人としての自由と權利とは、決して奴婢であるからとて輕蔑される様な事は無く常に相當の待遇を受け、仕事の上にては充分の責任を以て働くのであるから、時に主人の子弟でも呼捨にすることを憚らぬ、又弟子も能く其命に應ずることを辭せぬのである。主人は夫妻共に奴婢を能く信用して、常に凡て全權を任して仕事をやらせ其間一點の猜疑を入れぬ。殊に又日本人の様な何でも彼でも家事一切、其奴婢のさまたつた仕事以外の餘分な務め迄、凡て奴婢にやらせるなど、いふ事は無く、萬事にチャンと規律があつて、相互に義務責任を重んずる。吾輩は斯かる

主従の關係を以て實に一大美風だと思ふ。流石に自由國に生つたものだ。

友人知己 前にも述べた通り北米人は交際の人民だから、其友人知己を遇することは

可憐親切で用意周到を極め、時に彼等が友人知己を愛し親しむことは親族に對するよりも

優つた所があつて、其親密は仲々日本人などの想像以上だ。其の一度に親密なる友人とな

るに及んでは、其友愛の密なると、其交情の濃なることは實に人生無上の快樂を感せしむ

る。

▲賓客 對しても亦勿論親切を盡す。「メイキ、ユーアセルン、アット、ホーム」なる

一語、君の家庭においてなさる通りに御寛ろさなさいは如何に北米人が其賓客に對して

淳乎たる温情を持ち、好意を以て遇することの篤さかを知るに足るであらう。此の一語！

實に無限の妙味を有つ、容易に邦人の解し得ざる所である。

▲一般の氣質 北米人一般の氣質に就て云ふて見れば、彼等は只だ感情の強い人民であ

る。怒るにも、喜ぶにも、樂しむにも、愛するにも、親しむにも、又疎遠にするにも、凡

そ強い感情に支配されてやるのだ、斯く感情強ひからして、彼等は活潑で機敏である。到

る處に友人を得、知己を求め、船に乗り、汽車で旅し、常に能く友人を得て快談し嬉語し

交際する。彼等は交際場裡に於ては知らぬ人は無いやうで、一寸として知己となることは

極く容易であるが、他日親友として交情深き間柄となるのも之より入るのである。斯く彼

等は誰人とも交際し得るの氣性を持つて居るが、又決して舊交といふものを忘すれるも

のでは無い。少年時代、青年時代の交友は彼等の最も喜び尙ぶ所のもので、幾十年の後に

再會しても、直ぐに往昔を追懐し、眞に其時代の心持ちになり、互ひに其の昔の呼名を口

にし、前後を忘れて心から樂しく愉快に語り合ふ様、實に云ふに云はれぬ妙趣がある。

▲北米人の氣質に就て注意 どうか、北米人の氣質に就て一通りの事は、今迄話して

来た所で分つたらふ。元より僅かに其一斑を示したに過ぎない話だが、少しは得る所があ

つたかね。尙終に臨んで二三の注意を話して置かふ。

北米人は今云つた通り感情の激しい人民だから、彼等と交際するには、努めて其感情を害

せぬ様に注意せねばならぬ。如何に親密な交際であつても、一朝其感情を損じたら、も

う再び舊に復することは出来ぬ、固より親交の友人間では互ひに尊敬と堪忍とを持つて

るから容易に感情を害す様な事は無からうが深く此點は慎まねばトング事になる。北米の人は習慣風俗を重んずる風があるが、些細の事でも彼等の風習を熟知するは缺くべからざる事である。

彼等は一事を繰り返す風があつて、吾輩が何か一度び失策をすると、何度となく之を繰り返して話し、以て一興を博し一笑を求めんとする。

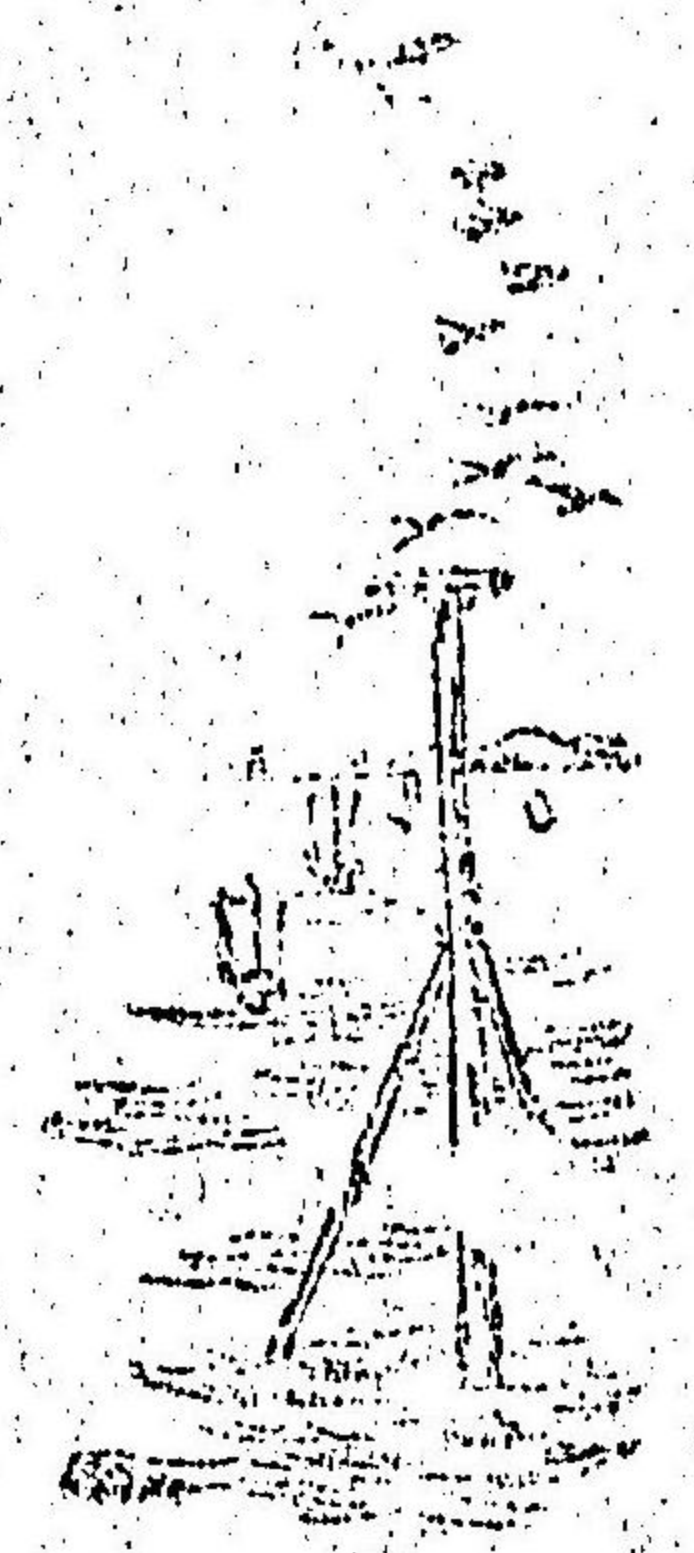
▲彼等の間では紳名(ニツクネーム)を呼び合ふことを喜ぶ。親しい友人同志になると、能くニツクネームを附けて之を呼ぶ北米人と交際するには、極めて活潑なるは云ふ迄も無い事であるが、自己の名を通ずるにハツキリ分り易く、其態度も敏捷でなければならぬ。經驗談は彼等の最も好む所で、此話はよくやるが、他人を誹謗したり批難攻撃したりする様な話をするのを好まぬ、其經驗を語るには努めて快活なるを喜ぶ。

吾輩は以上北米人の氣質一掃を話したが、唯だ若き女子の氣質及び交際に就ては云ひ洩らしてゐた。之は實に困難な問題であつて、仲々一短章に於て満足に説明し切れぬものであるから、茲には彼等に對する注意だけを語つて置かうと思ふ。

▲北米の女子

は甚だ取り扱ひ憎い代物である。彼等は北米人の中で最も感情強く、而も又最も我儘な者で實に其感情はデリケートであるから、之が感情を害せぬ様にして行くには困難な話であるが、彼等は亦頗る快活で機敏で勇氣があつて大膽である。其變化は常ならずで、其氣質は云はゞ之れ變化の權化である。故に彼女と交際するには時に泰山の様な、特に大海の様な、大きな氣象もなければならず、廣い度量をも持たなければならぬので、然も驚を遇する様な考へを以て接せねばならぬ。彼女は實に怒りツポイ、泣きツポイ、愁ぎツポイ、嫌いツポイ、而も疑ひ深い、驚き易い、信じ易い、極めて不思議な性質。言はゞ變化多き氣風がある。唯だ親實と熱誠と正直とフランクネスとを以て交際するより外はないが、彼等の氣質に能く調和して衝突せず、圓滿に旨く交際を續けて行くといふのは、蓋し邦人などに取つては仲々六ヶ敷い事だらふと思ふが、然し若しも能く之が成功を得た人は、彼女の信用を受くることの出来たものなので、眞の成功を得んとする者は、彼女と圓滑に巧みに交際し、能く愛せられて茲に永遠の親交を結ぶに至つた者のみだらうと思ふ。

どうだ、君等は皆北米の婦人と交際がやつて行けると思ふかね。マア、北米人の氣質に就て一ト通りをサツト語せば、コンなるのだ。何れ又折があつたら一層詳しく述べることにして。



97-150

LI 46-12

英語會話

ENGLISH AND JAPANESE CONVERSATIONS.

日々働きに於ける必要會話

セツト セ テーブル ナウ
Set the table now.
アイ ドント ノー ハウ
I don't know how.
アイ ショウ ユー
I show you.
シャールファイ マーキ ファイヤ
Shall I make fire?
ブロッケン セ ストープ
Blacken the stove.
ポリッシュ ナイブス エンド フォークス
Polish those knives and forks.
ウォッシュ デッシュェス クリーン
Wash dishes clean.
ホウチニ ヴーイング
What you doing?
ピーリング ポテトース ナウ
Peeling potatoes now.
ダグユー マーキ コヒー
Did you make coffee?
ブリング アツプ サム コール プリース
Bring up some coal please.
マーキ サム キンリンツ ウード
Make some kindling wood.
ブリング ミー セ シアボル ヘア
Bring me the shovel here.
ダグユー ファインド セ ホー
Did you find the hoe?
ノー アイ クント フラインド イット
No, I couldn't find it.
ドゥー ユー ノー ハウ ツ プラウ
Do you know how to plow?
ダグユー ノー ハウ テー フィード セ
Did you know how to feed the
チツケン ターキース ダツクス エンド
chicken, turkeyes, ducks, and
ピツクス
pigs?

タマイマ ショクシノテーブル カザツク
只今 食卓を飾て下さい
ワタシ
私はドウするのかわりません
ワタシ
私が教へてあげませう
アイマ
私は今火をたきつけませうか
ミガ
ストーブを磨いてくれ
ナイフとホークをおみがきなさい
サラ
皿をキレイにあらつておくれ
オマイナニ
汝は何をして居るか
イマイモ カワムイ
今芋の皮を剥て居ます
オマヘ
汝はカヒーをいれましたか
セキタン モ
どうぞ石炭を持って来ておくれ
クキツケ コサ
燃付を拵へて置いておくれ
コトコロ モツ
シヤボルを此處に持てこい
オマヘ
汝はホーを見出せしか
ミーダ
イヤ見出させぬ
オマヘ
汝は馬にて畑を鋤くことを知ておるか
ニワトリ シヤンシロアヒル
鶏 吐糞鳥 家鴨 及び豚に飼をやり
ましたか

英語會話

Do you understand how to clean
Lend me a boat.
Is Mr. ... home?
No, but he will be soon back.
How do you know that?
Friend of mine told me so.
Come here.
Come in.
Don't forget.
She said so.
Hurry up.
Quick.
Give me the money.
Pay me my wages.
I bought a watch, pen?
I am very busy now.
Take care.
Translate that into English.
I heard a knock and see!
Who is there?
Is there not any mistake?

あなたは馬をきれいにすることを
小舟を貸して下さい。
何々さんはお家でですか。
さうですけれど、もうすぐ帰ります。
如何してあなたはそれを御存知ですか。
私の友人が知らせてくれました。
此處へおいでなさい。
おれはおいでなさい。
忘れてはいけません。
あの女は差機申しました。
急げ。
急げ。
金をおくんなさい。
給金を持つて来てください。
貴君は時計、時計を買いましたか。
否、買いません。
私は夕飯の仕度をして居ります。
スミスさんはどこにおいでなさいか。
二階ですか。
私は今大忙しなので、
氣を遣いなさい。
それを英語に訳しなさい。
戸をたたいて音がきこえますから、
見ろ。
何ですか。
間違はありますか。

英語會話

Is that an easy work?
Have you any company with you
to-day?
I give you a cake.
Thank you very much or Much
obliged.
Not at all. Don't mention that.
Is this enough?
Wait a minutes or Wait few
moments.
It is not enough.
I caught cold few days ago.
I have ordered meat.
What is day of the month?
Which one have you chosen?
I want go out to-night.
What time will you be back?
I be home at 4 this afternoon.
Put out the light.
I shall go to talk by telephone.
As you know.
Who did this?
I dont know.
That is all.
Write a receipt.
Don't talk nonsense.
Why do you put it off?
That is true. (reaily)
That is good idea.

それは容易い仕事ですか。
今日はお客がござりますか。
あなた、クワン、
貴君に菓子をおげます。
有難う。
いいへどういたしまして。
これで澤山ですか。
一寸お待ち。
それは澤山ではありません。
二三日前風邪をひきました。
私は肉を注文しました。
今日は何日でせう。
どちらがよくありますか。
私は今晚、外出をいたします。
何時にお歸りになりますか。
午後四時に歸ります。
燈を消しておくれ。
電話ではなしに行きます。
御存じの通り。
これはだれがしたのですか。
私は知りません。
これ限りです。
受取を書いて下さい。
くだらぬ事をいふな。
なぜ延すのですか。
それはほんとうです。
其はよい考です。

SCHOOL BOY.

A. Where is his house number?

千九百十九番の家は何處ですか

B. Two houses beyond this one on the same side.

此家から二軒目の同じ側の家です

A. Good day. How do you do.

今日は御禮候は如何ですか

A. Do you want a school boy?

スクールボーイが御入用ですか

A. I come from Post St. Employment Office.

私はポスト町の雇入れ事務所から来ました

B. Yes, come in and sit down there.

夫なればいつて来ておかけなさい

B. Can you speak Japanese?

おまへは英語が話せますか

A. Yes madam! I can speak some.

はい、適當の事は話せます

B. Can you cook, wash dishes, sweep floor, clean windows, and so forth?

おまへは料理皿洗ひ掃除拭きなどの働事ができますか

A. I don't know much about cooking, but I can make coffee, cook, wash, and peel potatoes.

私は料理法は餘り存じませんが、コーヒー、煮、洗、皮むき位は出来ませう。尚ほ家内掃除も心得ております

B. How much wages do you want a week?

おまへは給金が何程欲しいのですか

A. One dollar and a half and I wish to go out at half past eight in the morning.

一週間は、壹圓五角前後願いたします。そして毎朝八時半に家を出ます

A. I go to the high school you know every day.

私は毎日御存じのハイスクーラに行きます

A. Come home at four in the afternoon.

午後四時には帰宅なさい

A. Of course, on Saturday I shall work almost all day.

勿論土曜日には終日働かせませう

A. How many people in your family?

あなたの家は幾人の御家族ですか

B. Four in the family.

四人です

A. Have you my bed room?

私の寝る部屋がありますか

B. Yes I have a nice room for you.

あります、しかも綺麗なのです

A. Please show me the room.

どうぞ室を見せて下さい

A. I wish to work for you, if you like.

若しおなれがお好きならば私は働く事を願ひませう

B. Allright, you can work from to-day if you wish.

よろしいそれなら今日から働かせておくれ

A. Very well, madam. I will come at four in the afternoon.

それなら御存じの午後四時に参ります、左様なら

Good-bye.

日々の仕事に就ての話

A. What time shall I get up in the morning?

私は朝何時に起きませうか

B. At half past six.

六時半に

A. What do you like for breakfast?

朝食はどんなものをお好みですか

フルーツ カツファイー マッシュ ハム エンド
 B. Fruits, coffee, mush, ham and
 eggs.

プリーズ テル ミー レギュラーズ
 A. Please tell me regulars house-
 work for week days.

オン モンデー ウォッシング オン チューズ
 B. On Monday washing, on Tues-
 day ironing, on Wednesday clean
 windows, on Thursday sweep
 up-stairs, on Friday sweep dining
 room and hall, and on Satur-
 day wash all front steps,
 scrub kitchen floor, and bake
 cake to eat at dinner for next
 Sunday.

ホワット シャル アイ クック フォア ユア
 A. What shall I cook for your
 dinner?

スープ クラブ サラダ ロース ビーフ
 B. Soup, crab salad, roast beef,
 and apple-pie.

ホウ マニー ピープル ウィル カム
 A. How many people will come
 to the dinner to-night?

シックス イン オール
 B. Six, in all.

クワロモ
 菓物のカツファイー、マッシュ、ムハに玉
 子

マイコチ ナニイタレ
 毎日のハウスワークは何を致ませう

グワロモ センダクワロモ アイロンスイロモ
 月曜日には洗濯火曜日には熨斗水曜日
 に窓拭き木曜は二階の掃除金曜に
 は食堂と廊下土曜には表の階段と臺
 所洗ひそうして日曜日にはデンナ
 ーの菓子をつくる等です

コンバン ナニコリイタレ
 今晚のデンナーには何を料理致しませ

うカ
 スープ、蟹のサラダ、ローストビーフ、
 アップルパイ

コンバン クヒトイコソ
 今晚のデンナーに来る人は幾人ですか

ミンナ ナコロド
 皆で丁度六人です

きゆ きん ぞう か せい きう
 給金増加の請求

プリーズ マダム ベイー ミー ワン
 A. Please madam pay me one
 dollar more each week.

ホワイ デー ユー ワオント イット フォア
 B. Why do you want it for?

ビコーズ ゼ ビコーグ イズ ツー
 A. Because the work is too
 hard.

おかみさんどうぞ毎週間、賃金の増金
 を願ひますか

それはどんな理由ですか

餘り仕事が多過ぎるからです

アイ ハブ ツ ワーク オール デー
 A. I have to work all day
 without a rest, from six o'clock
 in the morning till nine at
 night.

イフ ユー キャント リーズ マイ ワーグス
 B. If you can't raise my wages,
 then please give me two hours
 rest in afternoon.

イフ ユー カン ドゥ ネイサー ムン
 A. If you can do neither than
 I am sorry to say that I
 will go away.

ウェル、アイ ウィル スピーク トゥー
 B. Well, I will speak to my
 husband about it and then
 answer for you.

マダム、アイ ウィッシュ トゥー
 A. Madam, I wish to go away.

ホワイ、ドゥ ユー ワント トゥー
 B. Why do you want to go
 away?

ビコーズ、アイ アム ノット サティス
 A. Because I am not satisfied
 with my wages.

ホウ マッチ モア デー ユー
 B. How much more do you
 want?

フィフティ フォア モア エアリー
 A. Five dollars more every month,
 if you please.

アイ ウィル イヴ ユー ワット ユー
 B. I will give you what you
 for and will you stay here
 for a long time.

アイ カント アンスワー アバウト
 A. I can't answer about the
 future, but I will try to stay
 with you longer.

私は朝の六時から晩の九時まで働き
 つづけて

もし賃金ができなければ午後二時間の
 暇を下さい

もし両方とも叶はなければ私は御殿を
 頂戴します

よろしい何れ旦那と相談の上返答いた
 します

おすみさん私は暇を頂戴したい
 何しておまへに暇を取りますか

私は、只今の給金に満足しないからで
 す

あなたは幾何の増金を望むのですか

毎月五弗づ、多く頂き度です

私はおまへの望み通り上げのから長く
 働いておくれ

未来の事は断言は出来ませんが、成なら
 は御座世の通り働きましよう

暇取るときの話

A. Madam, Please give me leave as I am about to attend the Academy.
B. All right you can go any time you wish, it would be good to attend the school.

私は今より終日 働きを止めて中學校に通いたいのですが暇を頂きたいのですか
宜しいおまへ都合で何時でも、それは大邊宜しい事だ

市街車及び汽車の乗降

A. Please tell me which is the car for go to Pine street.
B. That yellow car just second one in the line.
A. Thank you!
B. Fare please!
A. Give me change.
B. Have you no small change?

何れがパイン町へ行く車でせう一寸教して下さい
彼の黄色の二番目の車です
有難ふ 乗車賃を下さい
お釣りを下さい
あなたは小さいのをおもちになりませんか

A. No, I have not.
A. Wait a minute, I will get change.
A. Please give me transfer to Post St.
A. Please stop at next block.

いゝありません
一寸お待ちなさい余は取替できます
ホースト街の乗替切符を下さい
どうぞ車の進行を止て頂下さい余は次の道で下ります

A. Please tell me where is the ticket office?
B. There is the ticket office on the left side of waiting room and it is written "Ticket Office"

汽車の切符を賣捌所は何處ですか
此待合所の左側でチケットの賣捌所と書てあります

A. Thank you very much.
A. Give me a ticket for Oakland.

どうです有難ふ
オークランド行の切符を下さい
何時オークランド行の船は出ますか
十分です

A. When the boat leaves here.
B. Only in ten minutes.

此處はオークランドと停ますか
いえ、オークランド渡止場です
此汽車はオークランド行ですか
いえ、サンフランシスコ行です
ニューヨーク行の汽車はどれですか

A. Is this Oakland?
B. No, this is Oakland ferry.

一寸 車賃さん、ブロー、ウエー、停車場に着く時に知らせして下さい
何です何んと言ひましたか、よろしい知らせして下さい

A. Is this train for Oakland?
B. No, this is for Sacramento.

A. Which is the New York train?

ニューヨーク行の汽車はどれですか

A. Please conductor, tell me the Boardway Station.

下宿屋を尋るときの間答

B. What you say, a bright I will tell you.

此近邊に善い下宿屋は御座いますか
此處より三町程 眞直に下り右角に下宿屋があります

A. Is there any good lodging house around here?

How far is the right side of this same street, if you go

B. There is one good lodging house on the right side of this same street, if you go

ダウン アバウト スリー ブラック モア
down about three block more.

A. Thank-you very much.

B. Not at all.

A. Have you any room to rent?

B. Yes, come in, we have a good room.

A. I want the double bed and pay about three dollars a week.

B. Very well, you come to room No. 25.

A. I will pay you three dollars in advance and please give me a receipt.

A. Where is the W. C.?

B. On the corner of second floor hall.

マコト アリガト コマ
誠に有難ふ御座ります

どう致しまして

部屋がありますか

おはいりなさい 良き室が空てあります

ダブルベッドで一週間三弗位の所が欲しいのです

承知致しました 第二十五番の室にお休み下さい

今前金 参弗上ますから 請取書を頂下さい

トイレはどこですか

二階の廊下の角に御座います

需要品の買もの

A. I want tablet and envelopes.

A. How much.

B. Both are ten cents.

A. I want the better one than those.

B. Yes, this is the best and twenty-five cents.

A. Give me one.

A. This change is bad money, please change it.

私は 状 袋と 書翰紙を買ひたいのです

此はいくらですか

どちらも拾仙です

此よりもつと紙質のよいのがほしい

長りました此は二拾五仙で壹番宜しいのです

これを一册下さい

此つり銭はいけません 假金のよふです から取替して下さい

that so, excuse me.

左様でございます

靴 SHOES.

A. I want same shoes.

靴を一足 見せて下さい

B. Come and sit down here please.

こちらへお入りなさい

B. What kind shoes you like?

どんな種類の靴が好きですか

A. I want black lace shoes about three dollars and No. 64 of size.

黒色の編の上の靴は 半打 五弗位の所が欲しいのです

B. Decide this shoe fit you.

此があなたに 能く適合して居るでせう

A. This is little too narrow.

少し細い 狭い 他のもお見せなさい

Show me another, please.

此は如何ですか

B. How is this?

よろしい此を買取ませう

A. All-right, I take this.

よろしい此を買取ませう

衣服 CLOTHES.

A. I want to see suit of clothes.

私に 衣服一着 見せて下さい

B. About what price?

どの位の価格の物が入用ですか

A. About fifteen dollars.

凡そ拾五弗位

B. You try this.

此を 試に 着て 御覧なさい

A. I don't like morning coat and I want sack coat.

余は 朝用コートは 嫌です 七折の

This is just fit you.

此はあなたに 適合して居ます

A. Yes, coat and vest are all.

左様と成ると ジャケットは 宜しいが ズボン

ライト パンツ イズ ツー ロング
right, but pants is too long.
ベリー ウェル アイ ウィル カット イット
B. Very well, I will cut it
for you.
A. How much.
B. Eighteen dollars and half.
A. That's too much I want to
get cheaper one.
B. All-right, sir; I will take
off fifty cents.
A. No, make it sixteen
dollars, because I pay in cash.

ナガス
は長過ぎます
サヤワ シヨクニンキ
左様ならば職人に切らせませう

アタイ
代價はいくらです
拾八弗五拾仙です
それは直が高過ぎるモツト安き品が欲
のです
宜しうござります五拾仙を引き申して
置きます
いけません拾六弗におまけなさい現金
で拂ふから

田舎へ旅行

A. What time the train leave
for Sacramento?
B. Leave ferry at four o'clock
afternoon, and its fare is one
dollar and half.
B. Every year from March there
is the poll tax collector who
collects two dollars.

サクラメント行の電車は何時に出るで
せうか
午後四時に波止場を出ますそして汽
車賃は壹弗半です
マイチン シロゼイリ ヘトバ デ
毎年三月より收税吏が波止場に出で登
人前貳弗の人頭税を取り立てます

田舎の働き

A. How do you do Sir.
A. Do you want work men for
picking grapes?

ゴキゲンイカ
御發嫌如何
あなたの所に働き人が御入用ですか

B. Yes I want.
A. How many men you want and
how much can you pay each
man a day?
B. I want about thirty men and
I will pay one dollar and
quarter each man per day, but
if you do piece work, I will
pay ninety cents, for one ton
of grapes.

A. By the day, how many hours
do you want us to work?
B. Eleven hours a day that's
from six o'clock in the morning
till six o'clock in the evening,
giving one hour rest at noon.
A. What day can you pay our
wages?
B. I pay off by the month.
A. No, sir, we don't like the
monthly pay, we want the
weekly pay, if you can't do
it, we will not work for you.
B. All-right, then every Saturday
I will pay you.
A. When do you start your
work?
B. From to-morrow morning.

サヨワ
左様です
ナニニンオイリヨロ マタイニンマヘ チンギン
何人御入用です又一人前一日の賃金は
いくらですか
バカ イリヨロ
三十人計り入用ですそして壹人の日
賃は壹弗廿五仙ですしかし請負仕事
を好むなら壹噸(二千片)の葡萄摘み
で九拾仙拂ひます

デーローク ヘタラ イクサカンヘタラ
日給で働けば一日幾時間働くので
すか
シカン マサ シ メン シ
十一時間です朝六時から晩の六時まで
ソノアヒダヒル下キ シカン ヤス
其間正午に一時間の休みがあります

チンギン イツハラウ クダ
賃銀は何時拂て下さいますか

ゲツゴトハラ
一ヶ月毎に拂ひます
イカマセン ワタシドモツキ バラヒイキ シロカン
否 私等は月拂に嫌です一週間
ゴトハライ子ガ
毎に拂を願ひますもし左様でなけれ
ば私等は働きません

マイドヨロビ ハラツ ア
よろしいそれでは毎土曜日に拂て上げ
ます
シゴト ハジ
いつ仕事を始めますか

アス
明朝から

表着發問港ルトヤー・ビ・ヤリトクビ濱横

横濱發
 信濃丸 十二月十五日
 土佐丸 十二月廿九日
 加賀丸 一月十二日
 加賀丸 一月廿八日
 旅順丸 一月廿七日
 伊豫丸 一月十日
 安藝丸 二月廿四日
 信濃丸 二月九日
 土佐丸 三月廿三日
 加賀丸 四月六日
 旅順丸 四月廿日
 伊豫丸 五月四日
 安藝丸 五月十八日
 信濃丸 六月一日
 土佐丸 六月十五日
 加賀丸 七月廿九日
 旅順丸 八月十三日
 伊豫丸 八月廿七日
 濱横發

ビクトリア丸 一月廿九日
 ビクトリア丸 二月十二日
 ビクトリア丸 二月廿六日
 ビクトリア丸 三月九日
 ビクトリア丸 三月廿三日
 ビクトリア丸 四月六日
 ビクトリア丸 四月十九日
 ビクトリア丸 五月三日
 ビクトリア丸 五月十六日
 ビクトリア丸 五月廿九日
 ビクトリア丸 六月十一日
 ビクトリア丸 六月廿四日
 ビクトリア丸 七月七日
 ビクトリア丸 七月二十日
 ビクトリア丸 八月二日
 ビクトリア丸 八月十五日
 ビクトリア丸 八月廿八日
 濱横發

ビクトリア丸 九月十一日
 ビクトリア丸 九月廿四日
 ビクトリア丸 十月六日
 ビクトリア丸 十月十九日
 ビクトリア丸 十一月二日
 ビクトリア丸 十一月十五日
 ビクトリア丸 十一月廿八日
 濱横發

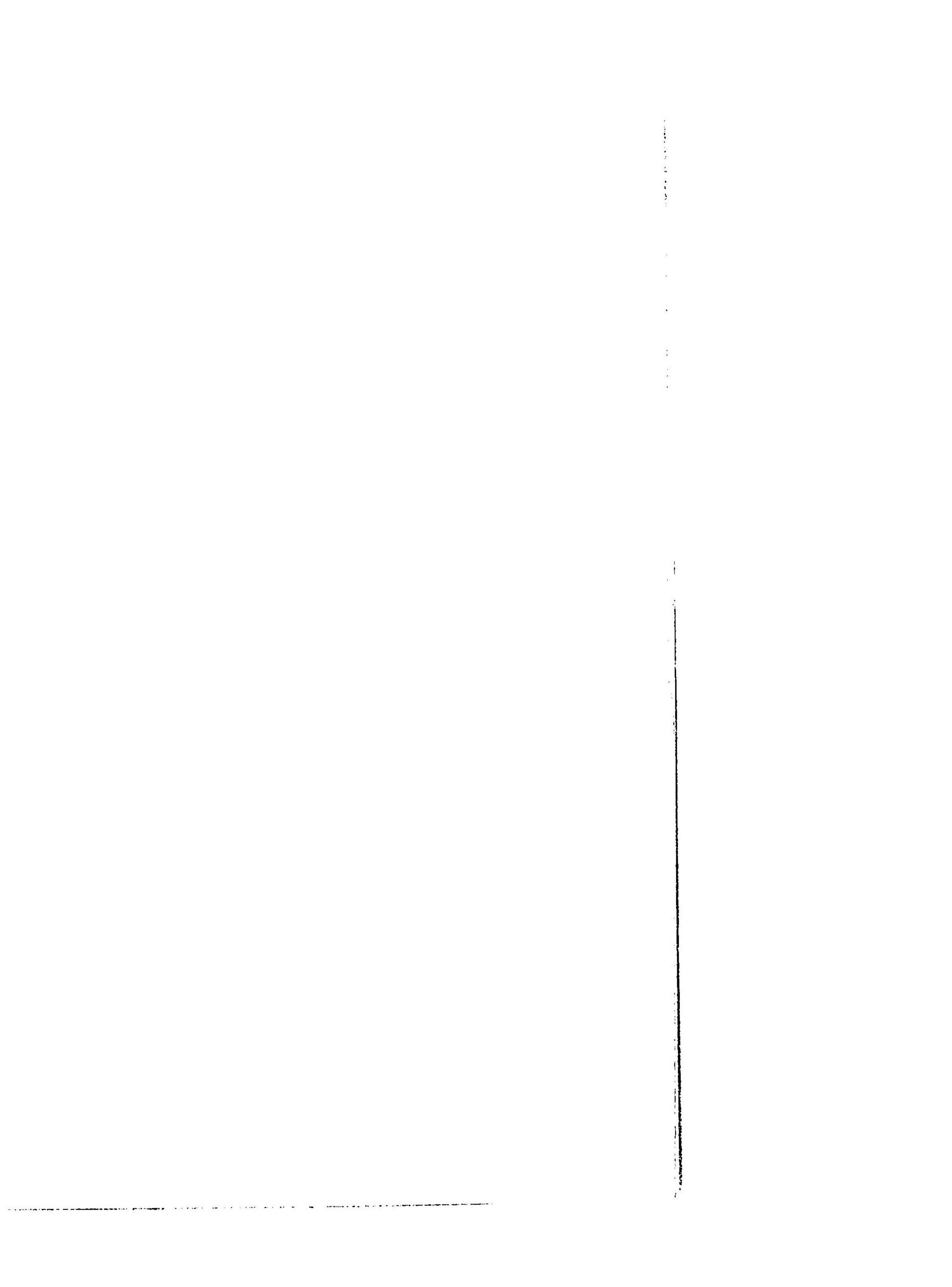
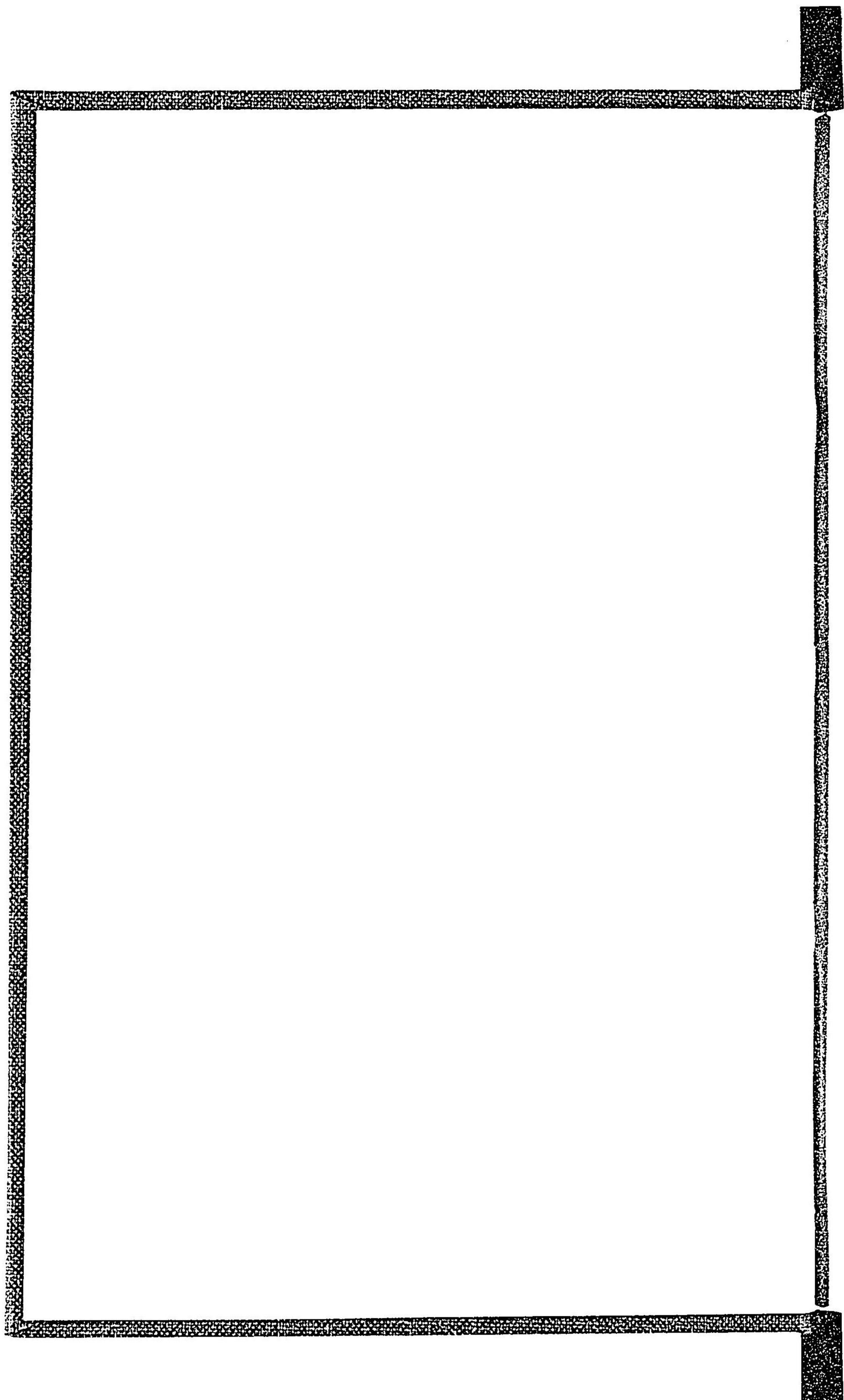
日本郵船株式會社

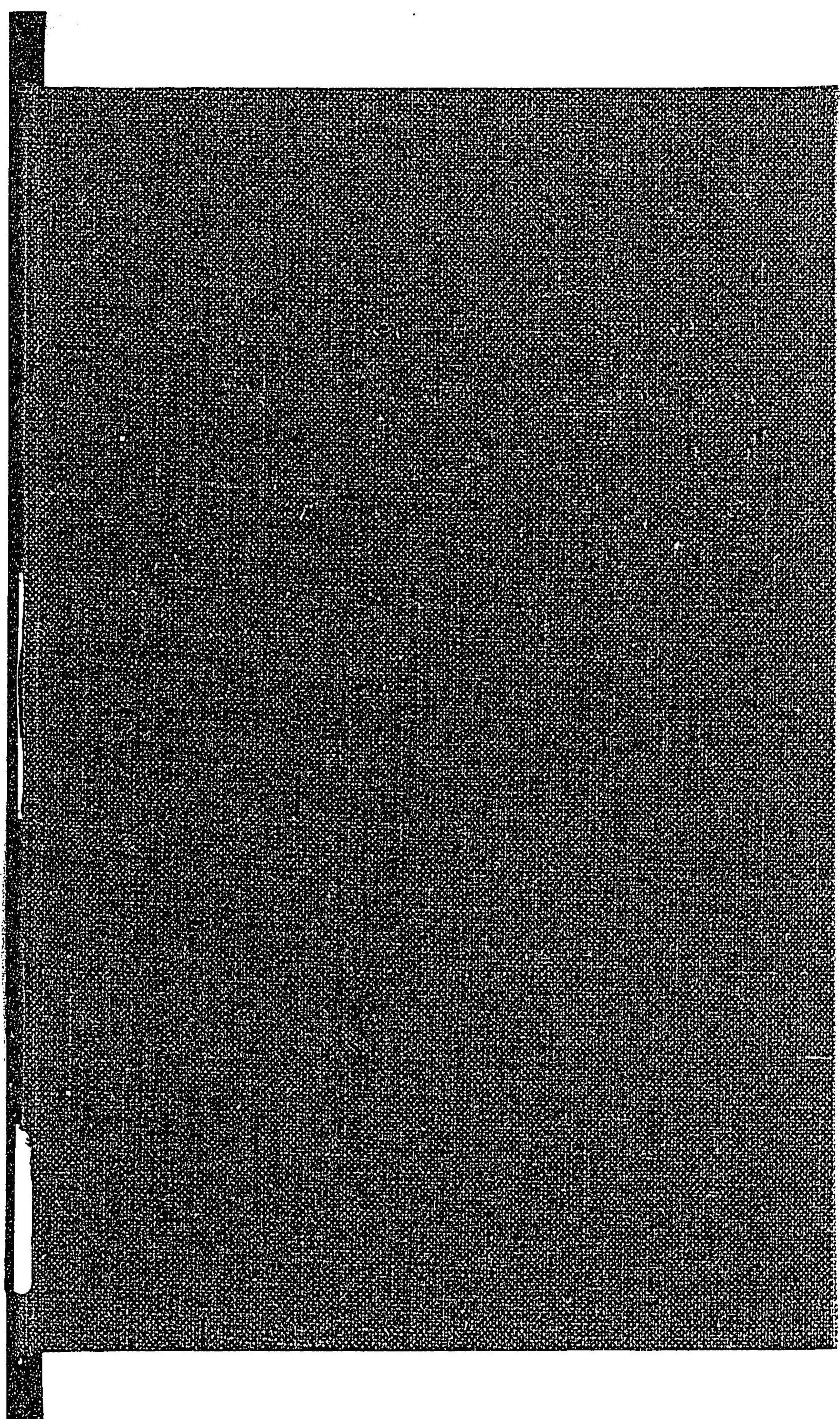
横濱院香開發表表

船名	發着日	到港日	船名	發着日	到港日
伊豫丸	十二月十五日	十一月十六日	伊豫丸	十一月六日	十月二十一日
土佐丸	十二月廿九日	十一月廿五日	加賀丸	十一月十九日	十月十五日
加賀丸	一月十二日	十二月十六日	信濃丸	十二月三日	十月二十三日
加賀丸	一月廿八日	十二月三十一日	伊豫丸	十二月十七日	十月廿七日
旅順丸	一月廿七日	十二月三十日	安藝丸	十二月十日	十月二十日
伊豫丸	一月十日	十二月十三日	信濃丸	十二月廿二日	十月廿九日
安藝丸	二月廿四日	十二月廿六日	伊豫丸	十二月廿六日	十一月一日
信濃丸	二月九日	十二月廿九日	安藝丸	十二月十九日	十一月四日
土佐丸	三月廿三日	十二月三十一日	伊豫丸	十二月廿三日	十一月七日
加賀丸	四月六日	十二月十三日	安藝丸	十二月廿七日	十一月十日
旅順丸	四月廿日	十二月廿七日	伊豫丸	十二月三十一日	十一月十四日
伊豫丸	五月四日	十二月三十一日	安藝丸	十二月廿九日	十一月十八日
安藝丸	五月十八日	十二月三十一日	伊豫丸	一月二日	十一月廿一日
信濃丸	六月一日	十二月三十一日	安藝丸	一月十六日	十一月廿五日
土佐丸	六月十五日	十二月三十一日	伊豫丸	一月三十日	十一月廿九日
加賀丸	七月廿九日	十二月三十一日	安藝丸	二月十三日	十二月二日
旅順丸	八月十三日	十二月三十一日	伊豫丸	二月廿七日	十二月六日
伊豫丸	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	三月十日	十二月十日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	三月廿四日	十二月十四日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	三月十八日	十二月十八日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	四月一日	十二月廿一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	四月十五日	十二月廿五日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	四月廿九日	十二月廿九日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	五月十三日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	五月廿七日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	六月十日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	六月廿四日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	七月八日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	七月廿二日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	八月五日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	八月十九日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	九月二日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	九月十六日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	九月三十日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	十月十四日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	十月廿八日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	十一月十一日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	十一月廿五日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	十二月九日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	十二月廿三日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	伊豫丸	十二月廿七日	十二月三十一日
濱横發	八月廿七日	十二月三十一日	安藝丸	十二月三十一日	十二月三十一日

表航出開港コスレンラフンサ、ルノホ、濱横

船名	横濱發	布哇發	桑港發	桑港發	布哇發	橫濱發
丸	一月一日	一月十一日	一月十八日	一月廿五日	二月一日	二月十三日
丸	一月六日	一月十六日	一月廿三日	二月二日	二月九日	二月廿九日
丸	一月十三日	一月廿三日	一月卅日	二月十日	二月十七日	二月廿七日
丸	一月廿日	二月六日	二月十三日	二月十七日	二月廿四日	三月七日
丸	二月九日	二月十九日	二月廿六日	三月五日	三月十二日	三月廿四日
丸	二月十七日	二月廿七日	三月五日	三月十五日	三月廿二日	四月三日
丸	二月廿四日	三月五日	三月十二日	三月廿三日	三月卅日	四月十一日
丸	三月五日	三月十五日	三月廿二日	三月卅一日	四月七日	四月十九日
丸	三月十三日	三月廿三日	四月一日	四月八日	四月十五日	四月廿七日
丸	三月廿一日	三月卅一日	四月七日	四月十六日	四月廿三日	五月五日
丸	三月廿九日	四月九日	四月十六日	四月廿六日	五月三日	五月十五日
丸	四月六日	四月十六日	四月廿三日	五月四日	五月十一日	五月廿三日
丸	四月廿六日	五月六日	五月十三日	五月廿四日	五月卅一日	六月八日
丸	五月四日	五月十四日	五月廿一日	五月廿八日	六月四日	六月十六日
丸	五月十一日	五月廿一日	五月廿八日	六月七日	六月十四日	六月廿六日
丸	五月十八日	五月廿八日	六月四日			
丸	五月廿七日	六月六日	六月十三日			
丸	六月四日	六月十四日	六月廿一日			
丸	六月十四日	六月廿四日	七月一日			
丸	六月廿二日	七月二日	七月九日			
丸	六月廿九日	七月九日	七月十六日			





97
150

禁
複
写

026907-001-7

97-150

新渡米

出版協会

M37, 38

ADG-0025



